

令和 5 年 度

事業報告書



社会福祉
法人

佐倉市社会福祉協議会

目 次

総 括	1
I 社会福祉事業	
1 法人運営	
(1) 組織の運営	3
(2) 組織体制基盤の強化	7
(3) 福祉功労者表彰	8
(4) 会員募集	11
(5) 災害時対応	12
2 地域福祉ネットワーク	
(1) 佐倉市地域福祉活動計画の推進・策定	14
(2) 地区社会福祉協議会活動の推進	17
(3) 地域福祉コーディネーターの設置	20
(4) 団体活動支援・連携	22
(5) さくらあったか食堂ネットワーク	26
3 ボランティアセンター	
(1) ボランティア活動の普及・推進	38
(2) 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援	44
(3) 福祉教育推進事業	45
4 企画広報	
(1) 広報啓発事業	46
5 善意銀行	
(1) 金銭、物品の預託、払い出し	47
(2) 小口貸付事業	47
(3) フードドライブへの協力	48
6 在宅福祉	
(1) ふれあい・いきいきサロン事業	49
(2) ふれあい型食事サービス事業	49
(3) おもちゃ図書館	49
(4) 車イス貸出事業	50
(5) 菊地久治奨学福祉事業	51
(6) 法人後見事業	54
(7) 移動サービス事業	56
(8) 生活困窮世帯子ども支援事業	58
(9) 終末ケア・終活支援事業	58
7 福祉総合相談事業	59

8 受託事業		
(1) 声の広報等発行事業		6 1
(2) 障害について学ぶ市民講座		6 2
(3) 生活福祉資金貸付事業		6 3
(4) 日常生活自立支援事業		6 5
(5) 成年後見支援センター		6 8
(6) 生活困窮者自立支援事業		7 1
(7) 介護人材確保対策事業		7 8
9 基 金		
(1) 福祉基金		8 1
(2) 菊地久治勉学奨励基金		8 1
(3) 元気に育て子ども基金		8 1
(4) 稲垣成こ 勉学奨励基金		8 1
(5) 福得孝養基金		8 1
10 共同募金配分事業		
(1) 歳末たすけあい運動		8 2
(2) 児童福祉事業		8 3
11 共同募金事業への協力		8 4
12 居宅介護		
(1) 障害福祉サービス事業		8 5
(2) 訪問介護員派遣事業		8 5
(3) 相談支援事業		8 6
13 介護保険		
(1) 訪問介護事業		8 7
(2) 居宅介護支援事業		8 9

Ⅱ 公益事業

1 指定管理事業		
西部地域福祉センターの管理運営		9 1

Ⅲ 収益事業

1 手数料の収入		9 6
-----------------	-------	-----

◆ 役員・評議員名簿		9 7
-------------------	-------	-----

令和5年度 事業報告（総括）

佐倉市社協・地区社協ともにコロナ禍で停滞を余儀なくされていた地域福祉を“再始動”の合言葉のもと再開させてきました。

ともに歩むふくしプラン4（第6次佐倉市地域福祉活動計画）が3年間の推進期間を終えて完結することができました。

また、新たな4年間の地域福祉活動を支える“ともに歩むふくしプラン5（第7次佐倉市地域福祉活動計画）”の策定に着手し多くの福祉関係者の尽力により完成させることができました。

計画では、『すべての人に居場所と役割のあるまち』を基本目標として4年後のわがまち佐倉の未来像を描いています。その実現のために“まちづくり”という名の4つの重点目標を掲げています。

佐倉市に暮らす誰にも、居心地の良い居場所があり、自分らしく活躍できる環境があり、災害時にも隣人同士がともに助けあい、そしてひとりの悩みを皆で解決しあえるまち、このような“まちをつくる”ために次期計画を確実にスタートさせていきます。

3年間実施してきた地域福祉コーディネーターモデル設置事業の成果を経て、次年度から「地域福祉コーディネーター」を本格的に稼働させることとなりました。

課題解決を通じて、地域福祉活動を活発化させるとともに、必要な情報の共有を図りより多くの市民に活動への参加を促す活動を展開して参ります。

【重点実施事項】

1. コロナ禍により実施を見合わせていた事業の再始動

令和5年度は約4年間にわたるコロナ禍が一定の終息をみて、市社協・地区社協ともに“再始動”を合言葉に、様々な事業・活動を再開させました。地域住民同士が直接顔と顔を合わせる取り組みは、地域福祉の基本であり、こうして地域が再び動き始めたことに大きな喜びを感じた1年となりました。まだ完全にコロナ前に戻った状況ではない中で、新たな“ともに歩むふくしプラン5”の推進が始まる令和6年度以降につながる再スタートとなりました。

2. とともに歩むふくしプラン4の推進及び地域福祉コーディネーターモデル事業の完結、第7次地域福祉活動計画の策定及び地域福祉コーディネーター設置に向けた取り組み

ともに歩むふくしプラン4は、推進期間の最終年度を迎え“再始動”のもとで市社協・地区社協ともに、コロナ禍では取り組めなかった様々な事業・活動を実践しました。併せてともに歩むふくしプラン5の策定に取り組み、市の地域福祉計画と連動した新たな4か年計画が完成しました。

地域福祉コーディネーターモデル設置事業では、3年にわたる実施期間を通じて、生きづらさや制度のはざま課題を抱える方に支援をし、地域の課題を地域で解決できる地域づくりのため「地域支援」「個別支援」「課題の共有と参加支援」を循環させて行うことで、共生社会の実現をめざし活動を展開させることができました。この実績を踏まえて令和6年度からは市委託事業の「生活困窮者自立支援事業」に位置づけて本格稼働することになりました。

3. 生活福祉資金貸付事業、生活困窮者自立支援事業、地域福祉コーディネーター設置事業を連動させた包括的な生活困窮者・困難者支援

新型コロナウイルスの影響による特例貸付の償還が開始されましたが、継続して経済的な自立が困難な状況にあるなど、新たな課題が浮彫になった世帯もあり、生活困窮者自立支援窓口や地域担当部署等とも連携をしながら見守り、相談支援を行うことができました。

また、ひきこもり支援を中心とした生活困窮者支援に対する支援の理解を地域へ広めていくため、地区社協会長会議、福祉委員研修、住民福祉懇談会、さくらケアマネ協議会研修などを通して制度の周知を行い生活困窮者支援を通じた地域づくりを行いました。

4. 介護保険法に基づく訪問介護事業及び居宅介護支援事業の円滑な終了

事業終了にあたり、利用者・利用者家族・関係機関への周知並びに利用者の他事業所への移行を円滑に行うことができました。

介護を必要とする高齢者やその家族、ケアマネジャー、介護事業所のと調整を行い、各利用者に合わせた適切なサービスの提供が継続されるための協議や連携を実施しました。

以下、令和5年度の各事業の概要を報告いたします。

I 社会福祉事業

1 法人運営

(1) 組織の運営

- ・市町村社会福祉協議会の法的根拠と社会福祉事業について

市町村社会福祉協議会は、社会福祉法第109条(昭和26年3月29日法律第45号)に規定された社会福祉法人です。

この法律は、社会福祉を目的とする事業の全分野における共通的基本事項を定め、社会福祉を目的とする他の法律と相まって、福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉(「地域福祉」という。)の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的としたものです(法第1条)。

- ・市町村社会福祉協議会の事業(法第109条抜粋)

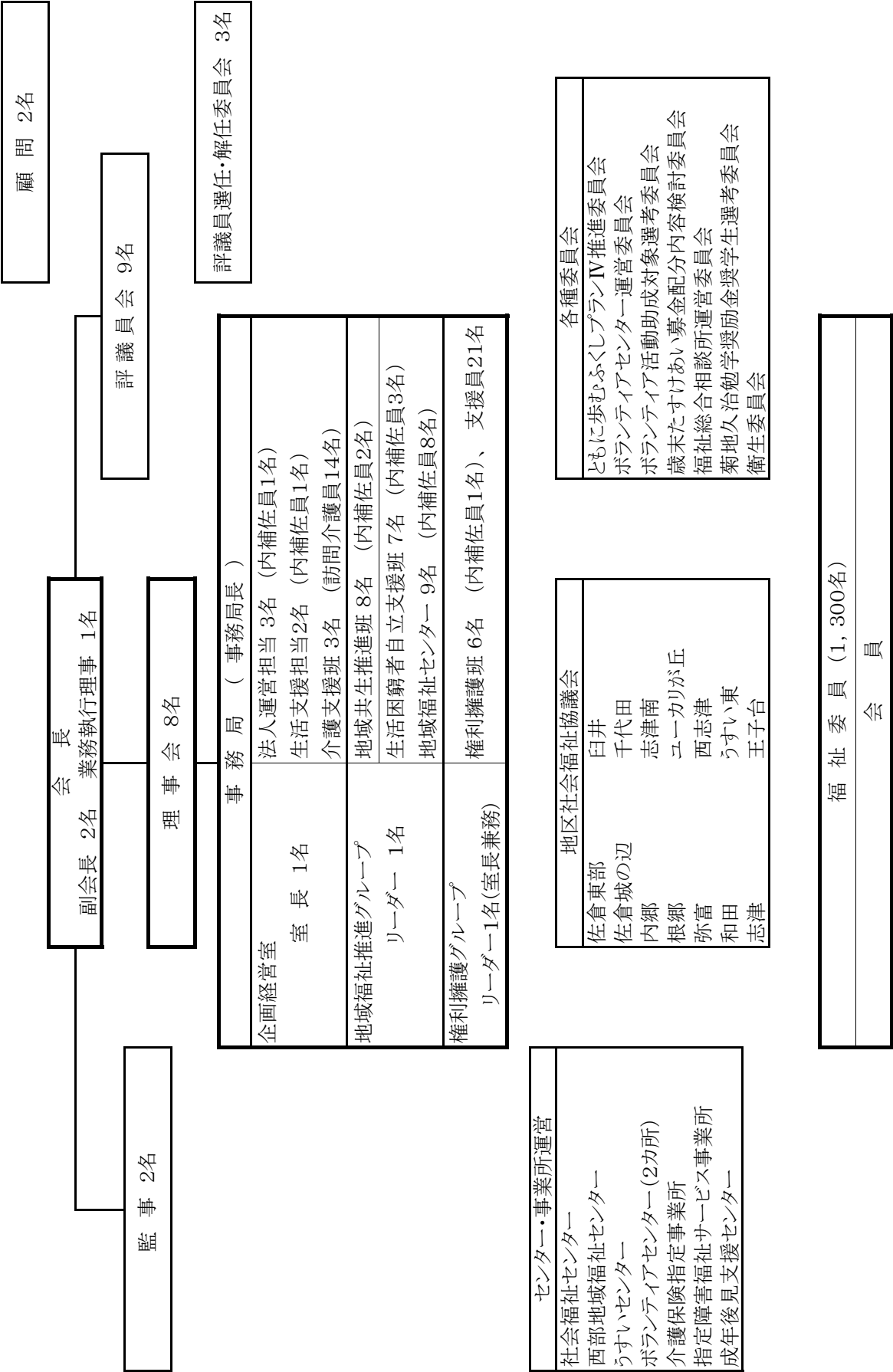
- ①社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- ②社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- ③社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- ④前3号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業



佐倉市社会福祉協議会マスコットキャラクター

“ふうりっぷ”

■ 社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会の組織（令和6年3月31日現在）



(ア)理事会の開催

回 数	開 催 日 時	会 場	出席者	上 程 議 案
懇談会	4月14日(金) 午後3時30分	2階会議室	理事7名 監事1名	・会長の退任に伴う次期理事候補者について協議
第1回	5月26日(金) 午後1時30分～	2階会議室	理事8名 監事2名	・令和4年度事業報告の承認 ・令和4年度決算の承認 ・事務局規程の一部改正 ・任期満了に伴う次期理事候補者の承認 ・任期満了に伴う次期監事候補者の承認 ・定時評議員会の招集
第2回	6月23日(金) 午後3時30分～	2階会議室	理事8名 監事2名	・会長の選任 ・副会長の選任 ・業務執行理事の選任 ・顧問の委嘱
第3回	9月15日(金) 午後1時30分～	2階会議室	理事8名 監事2名	・令和5年度被表彰者の選定 ・職員就業規則の一部改正 ・嘱託員就業規則の一部改正 ・再雇用者就業規則の一部改正 ・補佐員就業規則の一部改正
第4回	2月22日(木) 午後1時30分～	2階会議室	理事8名 監事2名 顧問1名	・事務局規程の一部改正 ・職員給与規程の一部改正 ・嘱託員給与規程の一部改正 ・再雇用嘱託員給与規程の一部改正 ・再雇用補佐員給与規程の一部改正 ・補佐員給与規程の一部改正 ・電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定 ・管理職職員の任免
第5回	3月15日(金) 午後1時30分～	2階会議室	理事7名 監事1名	・令和6年度事業計画の承認 ・令和6年度予算の承認 ・令和5年度補正予算の承認 ・ともに歩むふくしプラン5の承認 ・契約の締結 ・令和5年度役員等賠償責任保険の契約 ・評議員会の招集

(イ) 評議員会の開催

回 数	開 催 日 時	会 場	出席者	上 程 議 案
第1回 (定時)	6月23日(水) 午前10時～	2階会議室	8名	・令和4年度資金収支決算の承認 ・任期満了に伴う理事の選任について ・任期満了に伴う監事の選任について ・令和4年度事業報告
第2回	3月27日(水) 午後1時30分～	2階会議室	8名	・令和6年度事業計画の承認 ・令和6年度予算の承認 ・令和5年度補正予算の承認 ・ともに歩むふくしプラン5の承認 ・評議員・理事・監事の報酬等支給基準の承認

(ウ) 監事による監査(定款第22条に基づく)

実 施 日	会 場	出席者	内 容
5月18日(金) 午後1時30分～	2階会議室	2名	令和4年度事業報告、決算の監査

(エ) 内部会計監査(経理規程第72条に基づく)

実 施 日	会 場	内 容
7月21日(金) 午後1時30分～	会長室	令和4年度 1月～3月分会計処理状況
9月20日(水) 午後1時30分～	会長室	令和5年度 4月～6月分会計処理状況
10月20日(金) 午後1時30分～	会長室	令和5年度 7月～9月分会計処理状況
2月15日(木) 午後1時30分～	会長室	令和5年度 10月～12月分会計処理状況

(2) 組織体制基盤の強化

(ア) 衛生委員会

実施日	会場	出席者	内 容
7月13日(木) 午後1時30分～	会長室	3名	・令和5年度職員定期健康診断について ・令和5年度ストレスチェックについて ・新型コロナウイルスワクチン接種について ・その他(職場環境について)
2月8日(木) 午後1時30分～	西部地域福祉センター	3名	・令和6年度産業医衛生管理業務について ・令和5年度ストレスチェックについて ・ストレスチェック制度実施要綱の改正について ・その他(職場環境について、令和5年度総括)

(イ) 産業医衛生業務

実施日	業 務 内 容
4月13日(木)	令和5年度業務打ち合わせ、社会福祉センター執務場所等の状況確認
5月11日(木)	西部地域福祉センター執務場所等の状況確認、職員健康相談、面接
6月8日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
8月17日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
9月14日(木)	職員健康相談、面接(西部地域福祉センター)
10月12日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
11月9日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
12月14日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
1月11日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
2月8日(木)	職員健康相談、面接(西部地域福祉センター)
3月7日(木)	職員健康相談、面接(事務局)

(3) 福祉功労者表彰

(ア) 福祉功労者表彰

日 時	令和5年12月2日(土)
会 場	佐倉市社会福祉センター3階中会議室
被表彰者	112個人・団体
内 容	社会福祉の発展に功労のあった方々を表彰するとともに、これからの地域福祉のあり方や、本会が果たすべき役割の整理と活動の強化に繋げることを目的して実施した。

a 特別功労賞（会長表彰後10年以上）《27名》

池澤利一、石崎弘、江口すみ子、太田好子、小口展代、佐久間さち子、佐藤正史、澤野栄子、柴倉紀美代、清水かな子、清水春江、高椋知子、多田育子、立田かづ江、塚本香苗、中瀬和子、長谷川幸子、鳩谷定夫、久岡茂輝、平野協治、三橋きく江、峰村愛子、宮坂妙美、村上美代子、山口道人、吉田孝一、渡邊正紀

(敬称略)

b 会長表彰

・役員・評議員・委員（8年以上）《46名》

足立和枝、飯塚智、板垣征男、市田和夫、猪熊浩文、岩井睦、梅澤茂樹、大森恵子、柏木昌夫、門谷たか子、兼坂誠、川島静夫、川村治男、栗山とし子、神山幸子、小室洋子、齊藤英子、斉藤啓子、坂田玲子、柴田良子、関裕美、染谷光雄、高木信安、高橋勝征、竹内敏子、玉城清剛、田村勝重、中里康治、中島義人、中村富治、新原文子、錦織謙司、丹羽吏子、沼辺誠、橋本善男、濱野朋子、林隆幹、福田実、譜久村智宏、牧野ゆりか、路野俊雄、望月守、山口葉子、山根恵、山本英司、脇田泰廣

(敬称略)

c 会長感謝状

(a) 多額寄付者

〔個人〕（3万円以上）《5名》

出山恭市、オガタレオノラ、酒井久男、早坂光恵、盧俊雄

(敬称略)

〔団体〕（10万円以上）《9団体》

栗山自動車工業株式会社、佐倉むらさきライオンズクラブ、有限会社サンコーポレーション、生活協同組合コープみらい、一般財団法人田村社会貢献財団、株式会社ディーシーエム、ひがしんビジネススクラブオーロラ、明治安田生命保険相互会社成田支社、山万グループ

(敬称略)

(b) 福祉活動功績者

〔個人〕《8名》

加藤一政、近藤武雄、塚本和子、内藤英雄、中川和子、永野正子、藤枝美代子、室伏辰次郎

(敬称略)

〔団体〕《6 団体》

OKさくら、キャロット白銀、鼓珀、佐っちゃん・倉くん応援隊25、ふれあいサロン大崎台、やっかまし娘&おとなしボーイズ

(敬称略)

(c) 特別会員

〔個人〕(10年以上)《2名》

足立和枝、松原章

(敬称略)

〔個人〕(20年以上)《2名》

内田恒子、剣地平子

(敬称略)

〔個人〕(40年以上)《1名》

藤井 毅

(敬称略)

〔団体〕(10年以上)《5 団体》

アール・マテリアルズ株式会社、社会福祉法人えのき会、社会福祉法人千手会南部よもぎの園、社会福祉法人壮健会特別養護老人ホームさくらの丘、守田和正法律事務所

(敬称略)

〔団体〕(30年以上)《1 団体》

インバ建設株式会社

(敬称略)

(イ) 全国社会福祉大会

日 時	令和5年11月15日(水)
会 場	浅草公会堂大ホール
主 催	厚生労働省 こども家庭庁
	社会福祉法人全国社会福祉協議会
	社会福祉法人中央共同募金会

a 中央共同募金会会長顕彰(奉仕功労者)《2名》

宮内ひろ子、伊藤泰彦

(敬称略)

b 全国社会福祉協議会長表彰(社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労)《1名》

深沢孝志

(敬称略)

(ウ) 千葉県社会福祉大会

日 時	令和5年11月14日(火)
会 場	青葉の森公園芸術文化ホール
主 催	千葉県
	社会福祉法人千葉県社会福祉協議会
	社会福祉法人千葉県共同募金会

a 千葉県知事表彰《2名》

横川民夫（社会福祉施設職員）、植木桂子（共同募金運動奉仕者等）

（敬称略）

b 千葉県社会福祉協議会会長表彰

○民生委員・児童委員功労《17名》

梅村鉄也、森田よし子、荒悟、鈴木滋、原田和子、磐崎武仁、高橋京子、保谷信子、石毛寛、松崎裕美子、佐々木とく子、中野貞己、後藤良子、谷口千恵、岡本美典、吉原和裕、粟飯原利和

（敬称略）

○身体障害者相談員功労《1名》

大久保和夫

（敬称略）

○社会福祉施設・団体役職員功労《16名》

鈴木純子、菊田伸明、佐藤綾子、佐藤達弘、新名正聖、竹内博紀、小平和俊、櫛直芳、藤山大輔、竹田和子、成毛義規、堀川洋一郎、岡本一成、杉山美枝子、寺田清美、荒井裕美子

（敬称略）

c 千葉県共同募金会会長表彰状

○共同募金優良地区・団体《4団体》

宮本区、高座木区、西志津松林会、東急上志津団地自治会

（敬称略）

d 千葉県共同募金会会長感謝状

○共同募金奉仕功労者（民生委員・児童委員）《2名》

奥津洋子、関山和代

（敬称略）

(4) 会員募集

実施内容

会員制度は、組織の根幹をなすものであり会員が納入する会費は社協活動の貴重な自主財源である。説明用スライドを使用し社協説明会において説明したり地区社協や地域の懇談会等の機会を捉えて会員制度についてのPRに努めた。また、自治会に対しては個別に訪問する機会をいただき理解を求めた。

(ア) 会員数および会費収入金額

会員区分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般会費	34,157世帯	34,468世帯	35,019世帯
	17,078,675円	17,234,331円	17,509,803円
賛助会費	71人	111人	71人
	78,000円	123,000円	83,000円
特別会費（個人）	110人	116人	110人
	278,000円	296,000円	272,000円
特別会費（団体）	91団体	92団体	92団体
	910,000円	930,000円	930,000円
合 計	34,429組	34,787組	35,292組
	18,344,675円	18,583,331円	18,794,803円

(イ) 自治会・町会・区代表者への社協説明会

期 日	地 区	会 場
5月13日(土) 13:30~15:00	申込者	佐倉市民音楽ホール(ハーモニーホール)

(ウ) 法人会員募集の強化

法人会員拡大をめざし各団体への説明、資料送付等を行い会員募集の強化を図った。法人運営の財源基盤の拡充に向けて今後も取り組みの強化を図っていく。

(5) 災害時対応

実施内容

防災をテーマにした研修を佐倉青年会議所と連携し開催した。災害ボランティアセンター運営のDX化の研修や災害VCネットワーク会議では能登半島地震の被災地支援活動報告を通じ災害時の団体間連携を協議した。

(ア) 令和5年度第2回千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議

千葉県主催の災害時における行政、NPO、ボランティアによる三者連携強化を目的とした会議に参加した。

開催日時	令和5年10月20日（金）14時～16時
会 場	Zoom形式

(イ) 産業大博覧会

産業大博覧会に災害ボランティアセンターとしてブース出展しパネル展示による活動紹介と災害時用レトルト食品、保存水等を配布し来場者へ災害意識の啓発を行った。

開催日時	令和5年11月11日（土）、12日（日）10時～15時
会 場	佐倉草ぶえの丘
啓発品配布者	350名

(ウ) 防災事業

佐倉青年会議所と八街市社協と酒々井町社協と共催で防災をテーマに研修会を行った。災害VC運営をスマホアプリを活用して体験型の研修を行った。

開催日時	令和5年11月17日（日）19時～20時40分
会 場	佐倉市立中央公民館
テーマ	災害ボランティアセンター運営支援に関するDX推進について
講 師	(株) コンサイド
参 加	20名

(エ) 令和5年度災害ボランティアセンター運営スタッフ研修

千葉県社会福祉協議会主催の市民活動支援組織の機能強化を目的とした研修に参加した。

開催日時	令和6年3月6日（水）14時から16時
会 場	オンライン開催
テーマ	令和5年台風13号被災支援活動にあたった団体より、活動内容や他機関連携について報告
報告団体	茂原市社協、長南町社協鴨川市社協、千葉県危機管理政策課、CVOAD、千葉県社協
参 加	職員5名参加

(オ) 佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク会議及び研修

災害ボランティアセンターネットワークの連携強化を目的に研修と情報交換会を行った。研修では佐倉ライオンズクラブ夏海氏と木村知紀青森ZEROライオンズクラブアラート委員長（Zoom参加）に能登半島地震の支援状況報告をいただき、災害時に団体間の連携について学び、災害時には災害VCへ参集することになった。

開催日時	令和6年3月18日（月）14時～15時30分
会 場	社会福祉センター地下研修室
内 容	能登半島地震への支援状況報告
参 加	14名

2 地域福祉ネットワーク

(1) 佐倉市地域福祉活動計画の推進・策定

(ア) 市・社協事務局連絡会議

回数	開催日	会 場	主 な 内 容
1	4月19日(水)	2階会議室	・両計画の状況について ・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況、子ども食堂について
2	5月17日(水)	2階会議室	・両計画の状況について ・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況について ・地域福祉フォーラムについて
3	7月19日(水)	2階会議室	・両計画の策定状況について ・地域福祉コーディネーター活動状況、あったか食堂ネットワーク活動状況、ボランティアセンターの概況について
4	8月16日(水)	2階会議室	・両計画の策定状況について ・地域福祉コーディネーター活動状況、あったか食堂ネットワーク活動状況、ボランティアセンターの概況について
5	10月24日(水)	V連室	・両計画の状況について ・地域福祉コーディネーター活動状況、あったか食堂ネットワーク活動状況、ボランティアセンターの概況について ・こうほう佐倉への記事掲載について
6	11月15日(水)	V連室	・両計画の策定状況について ・地域福祉コーディネーター活動状況、あったか食堂ネットワーク活動状況、ボランティアセンターの概況について ・こうほう佐倉への記事掲載について ・地域福祉フォーラムについて
7	12月20日(水)	V連室	・両計画の策定状況について ・地域福祉コーディネーター活動状況、あったか食堂ネットワーク活動状況、ボランティアセンターの概況について ・こうほう佐倉への記事掲載について ・地域福祉フォーラムについて
8	2月7日(水)	2階会議室	・両計画の策定状況について ・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況、あったか食堂ネットワークについて ・こうほう佐倉への記事掲載について

(イ) とともに歩むふくしプラン推進委員会

回数	開催日	会 場	内 容
1	8月2日(水)	社会福祉センター	・地域福祉コーディネーターモデル設置事業の状況について ・次期計画策定にかかる地区社協説明会について ・ともに歩むふくしプラン4 令和5年度の取り組みについて ・第7次佐倉市地域福祉活動計画の策定について
2	12月5日(火)	西部地域福祉センター	・ともに歩むふくしプラン4 令和5年度の推進状況について ・次期計画素案について
3	2月7日(水)	社会福祉センター	・ともに歩むふくしプラン4 令和5年度の進捗状況について ・ともに歩むふくしプラン5案について

(ウ) プロジェクト会議(メンバー 1 2 名)

回数	開催日	会 場	内 容
1	4月12日(水)	会長室	・プロジェクト会議の年間スケジュールについて ・令和5年度プラン4推進スケジュールについて ・市社協・地区社協評価表の作成について
2	5月10日(水)	会長室	・令和5年度市社協評価表(今年度の取り組み)について ・次期計画策定にかかる地区社協説明会について
3	5月24日(水)	会長室	・次期計画策定にかかる地区社協説明会について
4	6月14日(水)	会長室	・第1回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について ・次期計画の策定について
5	7月12日(水)	会長室	・第1回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について ・次期計画(市社協)の重点目標4項目の具体的な取り組みについて
6	7月26日(水)	会長室	・第1回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について
7	8月9日(水)	会長室	・圏域ネットワーク会議について ・次期計画冊子の構成内容と役割分担について
8	9月13日(水)	会長室	・次期計画冊子の作成状況と校正について
9	10月4日(水)	会長室	・次期計画冊子の作成状況と校正について
10	10月11日(水)	会長室	・次期計画冊子の作成状況と校正について
11	10月18日(水)	会長室	・次期計画冊子の作成状況と校正について
12	10月25日(水)	会長室	・地域福祉活動計画の名称について ・次期計画冊子の作成状況と校正について ・市社協の具体的取組みについて
13	11月1日(水)	会長室	・次期計画冊子の作成状況と校正について
14	11月10日(金)	会長室	・次期計画冊子の作成状況と校正について
15	11月15日(水)	会長室	・次期計画冊子の作成状況と校正について

16	11月22日(水)	会長室	・次期計画冊子の作成状況と校正について
17	11月29日(水)	会長室	・第2回ともに歩むふくしプラン4推進委員会について
18	12月13日(水)	会長室	・次期計画冊子の修正について
19	12月27日(水)	会長室	・次期計画冊子の修正について
20	1月17日(水)	会長室	・次期計画冊子の修正について
21	1月24日(水)	会長室	・次期計画冊子の修正について
22	2月14日(水)	会長室	・次期計画冊子の修正について ・策定完了までのスケジュール ・ふくしプラン4 令和5年度評価表の作成について
23	2月28日(水)	会長室	・ふくしプラン4 令和5年度評価費用の作成について ・ふくしプラン5推進委員会設置要項案について
24	3月13日(水)	会長室	・ふくしプラン4 令和5年度評価表の作成について
25	3月27日(水)	会長室	・ふくしプラン4 令和5年度評価表について

(エ) とともに歩むふくしプラン5（第7次佐倉市地域福祉活動計画）の策定

7月～1月	事務局内プロジェクト会議にて次期計画案策定
12月5日(火)	第2回ともに歩むふくしプラン4推進委員会にて素案を協議
2月7日(水)	第3回ともに歩むふくしプラン4推進委員会にて最終案を協議
2月22日(木)	本会理事会にて最終案を協議
2月26日～3月4日	パブリックコメントを実施
3月15日(金)	本会理事会にて議決
3月27日(水)	本会評議員会にて承認

(2) 地区社会福祉協議会活動の推進

実施内容

地区社会福祉協議会の活動の推進を図り住民参加と協働によるコミュニティ活動の促進を行った。地区社協会長会議を行い社協活動について情報交換し各地区の活動へ繋げた。

(ア) 地区社協会長一覧

NO	地区社協名	氏 名
1	佐倉東部	小玉 克哉
2	佐倉城の辺	川上 三郎
3	内郷	岩井 睦
4	根郷	内藤 寛子
5	弥富	池澤 利一
6	和田	藤崎 言行
7	志津	横山 幹雄
8	臼井	八田 進
9	千代田	森野 正
10	志津南	吉森 文男
11	ユーカーリが丘	高崎 照夫
12	西志津	伊藤 泰彦
13	うすい東	森田 実
14	王子台	中台 一義

(イ) 地区社協会長及び事務局長会議の開催

No.	開 催 日	会 場	内 容
1	4月25日(火)	地下研修室	第1回地区社協会長会議 ・令和5年度市社協事業計画及び事務局体制について ・地区社協活動費について ・令和5年度福祉功績者の推薦について ・地区社協関係書類の提出について ・ともに歩むふくしプラン4の推進について ・地区社協活動と生活困窮者自立支援事業との連携について 就労準備支援プログラム・ひきこもり支援
2	9月19日(火)	地下研修室	第2回地区社協会長会議 ・ともに歩むふくしプラン4の推進について ・第7次佐倉市地域福祉活動計画について ・地区社協活動と生活困窮者自立支援事業との連携について ・再始動の状況共有（工夫したこと・悩んでいること）
3	2月21日(火)	西部地域福祉センター会議室	第3回地区社協会長及び事務局長会議 ・令和6年度地区代表福祉委員の推薦依頼について ・ともに歩むふくしプラン4推進及びプラン5策定について ・災害時における市社協・地区社協の役割について

(ウ) 支えあいサービス実務者の集い（支えあいカフェ）の開催

1	12月20日（水）	地下研修室	・コロナ禍を経て対応について工夫していること ・サービス利用状況・運営等について ・事例検討・情報交換
---	-----------	-------	---

(エ) 地区社協別会議等の開催

No.	地区社協名	福祉委員会	役員会等	住民福祉懇談会		ひとり暮らし高齢者食事サービス		広報発行
				回数	人員	回数	人員	
1	佐倉東部	4回	12回	0回	0人	2回	29人	4回
2	佐倉城の辺	3回	12回	1回	45人	2回	76人	3回
3	内郷	4回	12回	2回	65人	4回	61人	3回
4	根郷	3回	19回	0回	0人	0回	0人	3回
5	弥富	5回	6回	0回	0人	2回	77人	3回
6	和田	3回	7回	2回	24人	4回	51人	3回
7	志津	3回	12回	2回	31人	0回	0人	0回
8	臼井	10回	10回	1回	59人	0回	0人	3回
9	千代田	3回	12回	1回	25人	0回	0人	3回
10	志津南	5回	7回	0回	0人	1回	55人	3回
11	ユーカーが丘	4回	21回	3回	90人	3回	74人	3回
12	西志津	4回	11回	1回	80人	1回	48人	2回
13	うすい東	5回	20回	0回	0人	0回	0人	3回
14	王子台	7回	34回	1回	45人	0回	0人	3回

(オ) 地区社協のおもな活動

1. 高齢者福祉事業	ア. ひとり暮らし高齢者等を対象とした食事サービス、昼食会の実施
	イ. ひとり暮らし高齢者、ねたきり高齢者、障がい者を対象とした友愛訪問
	ウ. グランドゴルフ大会の開催
2. 障がい者・児福祉事業	ア. 社会福祉施設への訪問
	イ. 障がい者・児への援助活動
	ウ. 障がい者・児とその家族との交流
3. 児童・青少年福祉事業	ア. 児童・青少年健全育成活動
	イ. 各種スポーツ大会の開催
	ウ. 学習支援
	エ. 子育て支援事業
	オ. 世代間交流事業（昔あそび、ふれあい昼食会など）
	カ. 学校行事支援
	キ. こども食堂

4. 地域福祉活動	ア. 地域別住民福祉懇談会、住民座談会、ボランティア懇談会講座の開催
	イ. 生活改善、環境美化運動の推進
	ウ. 社会福祉協議会会員の募集
	エ. 地域行事への参加、援助、協力
	オ. 社会福祉団体の育成、援助
	カ. 社会福祉に関する調査、研究、P R 活動
5. 支えあい活動	ア. 支えあい活動の実施
	イ. 支えあいサービスの実施
	ウ. コミュニティ喫茶の実施
	エ. 買い物支援の実施
6. 募金活動	ア. 共同募金運動への協力（共同募金事業の項参照）、赤い羽根歳末たすけあい募金の街頭募金に協力
	イ. 「愛の箱」募金活動
7. 研修事業	ア. 研修会、福祉講演会等の開催及び参加
8. 広報活動	ア. 地区社協広報紙の発行（自治会・町内会等を通じ配布）
	イ. ホームページの開設 （既設地区：佐倉東部、佐倉城の辺、内郷、志津、臼井、千代田、ユーカリが丘、志津南、王子台、うすい東、根郷）
9. その他	ア. 福祉まつり・バザーの実施
	イ. いきいきサロン・100円喫茶の運営

(3) 地域福祉コーディネーターの設置

実施内容

ともに歩むふくしプラン4の重点目標を推進することに加え、これからの地域福祉推進に向けて、令和3年度より志津南部圏域をモデル圏域に定めて、地域福祉コーディネーターを1名配置し、地域福祉コーディネーター設置モデル事業を実施した。

(ア) 地域福祉コーディネーターの活動

生きづらさや制度のはざま課題を抱える方に支援をし、地域の課題を地域で解決できる地域づくりのため、「地域支援」「個別支援」「課題の共有と参加支援」を循環させて行うことで、共生社会の実現をめざし活動した。モデル設置3年目の令和5年度は「そして一緒に」を重点テーマとして活動した。

1. 地域支援

- ・自治会、関係機関、各種団体等の活動や会議等へ出向き、挨拶、情報収集、相談対応。
- ・西部地域福祉センターを拠点として活動（火・木・金10:00～15:00）。
- ・モデル圏域の地区社協（志津南・西志津）との定期的な連絡会。
- ・生活支援コーディネーターとの定期的な情報交換。
- ・電話やメールでの地域福祉コーディネーターに関する問合せ・相談対応。

2. 個別支援

- ・くらしサポートセンター佐倉や西部地域福祉センターと連携し、個別の支援が必要な対象者と継続的に直接関わり支援、関係づくりをし、必要に応じて、地区社協・自治会・民生委員等へのつなぎを行った。
- ・相談や情報提供を受け、他機関を紹介したり、調査・情報収集・情報交換等のつなぎを行った。

3. 課題の共有と参加支援

- ・ボランティアセンターと連携した、ボランティア活動の参加支援。
- ・地域活動に興味がある方への情報提供や参加団体へのつなぎを行った。
- ・個別の課題を地域の方の力を借りながら解決し、新たな取り組みへと発展させた。
- ・市社協職員での自主勉強会に参加し、個別支援部署との課題の共有を行った。

4. その他

- ・チラシを活用し、活動の周知・PR。
- ・各種会議等での活動報告。
- ・地域福祉コーディネーター推進検討会議。

(イ) 地域福祉コーディネーター推進検討会議

地域福祉コーディネーターが、地域支援、個別支援、課題の共有と参加支援を円滑に推進するために地域福祉コーディネーター推進検討会議を設置し、地域福祉コーディネーターの活動状況を共有し活動方針の判断やサポートまた必要な事務を行った。

回数	開催日	会 場	内 容
1	4月12日(水)	会長室	1. 地域ニーズアンケートについて 2. 最終報告書作成について 3. 会議日程年間予定表について
2	4月26日(水)	会長室	1. 地域ニーズアンケートについて 2. 市社会福祉課への報告及び今後の検討について
3	5月10日(水)	会長室	1. 地域ニーズアンケートについて 2. 生困事業での地域福祉Coの役割機能について 具体的なまとめ方
4	5月24日(水)	会長室	1. 生困事業での地域福祉Coの役割機能について 具体的なまとめ方
5	6月14日(水)	会長室	1. 生困事業での地域福祉Coの役割機能について 具体的なまとめ方 2. 丹生農園作業での作業報酬の扱い方
6	6月28日(水)	会長室	1. 丹生農園の作業協力について 2. 農作物の販売ルートについて 3. 地区社協のひきこもり支援準備状況について
7	7月19日(水)	会長室	1. アンケート調査について
8	8月9日(水)	会長室	1. 地域のひきこもり支援について 2. アンケート調査について
9	8月23日(水)	会長室	1. 地域福祉Coと民生児童委員と生活支援Co役割の イメージ図について
10	9月12日(火)	会長室	1. アンケート調査について

(4) 団体活動支援・連携

実施内容

福祉団体の活動を支援・推進するため、佐倉市障がい者団体等連絡会、佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の運営協力と活動支援をし、各団体並びに行政機関との連携を図った。

(ア) 佐倉市社会福祉施設協議会の運営協力と活動支援（定例会など）

No.	開催日	会場	内 容
1	6月2日 (金)	社会福祉センター 地下研修室	第1回定例会・施設長研修 1) 令和4年度事業報告について 2) 令和4年度決算について 3) 令和5年度事業計画について 4) 令和5年度事業予算について 5) 令和5年度就職フェアについて 6) その他
2	7月24日 (月)	社会福祉センター 2階会議室	第4回フクシジョブズ実行委員会 1) 実施方法の詳細について
3	8月16日 (水)	社会福祉センター 地下研修室	市長との懇談会・第2回定例会 1) 職員合同研修企画について 2) フクシジョブズについて
4	9月28日 (木)	社会福祉センター 2階会議室	第5回フクシジョブズ実行委員会 1) 開催日程について 2) 今後のスケジュール修正について
5	1月17日 (水)	社会福祉センター 地下研修室	市長との懇談会・第3回定例会 1) フクシジョブズ及び合同研修会について 2) 佐倉市への提言について 3) 令和6年度事業予算案について 2. その他 1) 協定福祉避難所の指定化について
6	2月21日 (水)	西部地域福祉センター	第6回フクシジョブズ実行委員会 1) 会場について 2) 開催日程について 2) 今後のスケジュールについて
7	3月8日 (金)	中央公民館	施設協未来協合同研修会 研修1：技能実習及び特定技能の新制度移行に伴う変更点と懸念点について 研修2：佐倉市国際交流基金の日本語教室について
8	3月12日 (火)	中央公民館	第4会定例会 1. 議題 1) 令和6年度事業計画案について 2) 令和6年度予算案について 3) 市長への提言書案について

(イ) 佐倉市障がい者団体等連絡会の運営協力と活動支援（定例会）

No.	開催日時	会 場	内 容
1	5月24日 (水)	西部地域福祉センター	・佐倉市障害福祉課の令和5年度施策説明 ・令和4年度事業報告、決算報告、監査報告 ・佐倉市障がい者計画及び佐倉市障害福祉計画策定懇話会委員の選出について
2	7月26日 (水)	夢さくら館会議室	・第6回まちのバリア点検会について ・佐倉市職員研修への協力について ・市民活動発表会2023について（市民公益活動サポートセンター主催）について ・第7次佐倉市障害者計画、第7期佐倉市障害福祉計画の策定について ・夢さくら館内の点検（ミニバリア点検）
3	9月27日 (水)	西部地域福祉センター	・弘山副会長逝去に伴う副会長の選任について ・第6回まちのバリア点検会について ・佐倉市職員研修への協力について
4	11月22日 (水)	西部地域福祉センター	・副会長の選任について ・第6回まちのバリア点検会の実施報告について ・佐倉市職員研修への協力について ・次期佐倉市障害者計画に関する意見について
5	1月24日 (水)	西部地域福祉センター	・第6回まちのバリア点検会収支報告について ・令和6年度事業方針の検討について ・佐倉市職員研修の内容について
6	3月27日 (水)	西部地域福祉センター	・令和5年度決算見込みについて ・令和6年度事業計画案の承認について ・令和6年度予算運の承認について

a. まちのバリア点検会ワーキンググループ

No.	開催日時	会 場	内 容
1	7月5日(水)	会長室	・開催日時、作業工程、後援依頼について
2	8月31日 (木)	2階会議室	・開催要項、点検箇所、広報について
3	10月5日 (木)	志津地区、 西志津地区	・点検箇所の下見を実施（公共施設、商業施設）
4	10月16日 (月)	2階会議室	・役割分担、タイムスケジュール、資機材の手配、参加者アンケート等について

5	11月30日 (木)	2階会議室	・第6回まちのバリア点検会ふりかえり、報告書の写真選定について ・12/9の啓発活動掲示物作成
6	12月9日 (土)	志津コミセン	・パラスポーツとところのフェスティバル会場内にて「まちのバリア点検会」の報告と啓発活動
7	12月22日 (金)	西部地域福祉センター	・第6回まちのバリア点検会報告書製本作業
8	12月27日 (水)	西部地域福祉センター	・第6回まちのバリア点検会報告書製本作業

b. まちのバリア点検会

No.	開催日	会場	内 容
1	10月29日 (日)	京成志津駅・南ロータリー、志津市民プラザ、西志津ふれあいセンター、志津図書館、スーパーベルク、マルエツ、サンキ、トップマート	参加者45名が5班に分かれ、車いすを利用し障がい者目線で、公共施設や公共交通機関、商業施設のバリアを点検し、ワークショップで発表を行った。 参加者内訳：障団連関係者17名、地区社協7名、民生委員1名、V連協2名、千葉盲学校教員2名、菊地奨学生3名、佐倉西高校6名、佐倉市障害福課3名、個人1名、市社協3名

(ウ) 佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の運営協力と活動支援

総会

回	日時／会場	内容
1	7月13日 (木)	西部地域福祉センター 1) 役員による会則第12条（執行役員）の執行について 2) 役員の選任について 3) 令和5年度（2023年度）事業計画・予算について 4) 令和3年度（2021年度）令和4年度（2022年度）事業報告・決算について

役員会

回	日時／会場	内容
1	11月2日 (木)	会長室 1. 佐倉市社会福祉施設協議会との合同研修会の実施について 2. 研修会のテーマについて 3. 開催日について

施設協との合同研修会

回	日時／会場		内容
1	3月8日 (金)	中央公民館	研修1：技能実習及び特定技能の新制度移行に伴う変更点と懸念点について 研修2：佐倉市国際交流基金の日本語教室について 参加21名

(エ) 印旛・香取地区中途失聴・難聴者のための手話学習会と手話サロン助成

助成額	50,000円
対 象	印旛地区中途失聴・難聴者
会 場	中央公民館他

・児童委員関連業務

佐倉市民生委員・児童委員協議会理事会及び各地区定例会に参加し、情報交換・連絡調整を行った。新型コロナウイルス感染予防のため、状況に合わせ連携方法を工夫した。

(5) さくらあったか食堂ネットワーク

実施内容

佐倉市内で子ども食堂・地域食堂を実施している団体のネットワーク事務局を担い加盟団体同士の情報交換や広報活動、各種支援団体との連絡調整などにより側面支援を行った。

(ア) 定期総会

No.	開催日	会場	内 容
1	4月20日 (木)	佐倉市立中央公民館大ホール	<協議題> *さくらあったか食堂ネットワーク令和4年度 事業報告について *さくらあったか食堂ネットワーク令和4年度 決算報告について *さくらあったか食堂ネットワーク令和4年度 監査報告について *さくらあったか食堂ネットワーク規約の一部改正について *さくらあったか食堂ネットワーク令和5年度役員体制(案)について *さくらあったか食堂ネットワーク令和5年度活動計画(案)・予算(案)について

(イ) 定例会

No.	開催日	会場	内 容
1	4月20日 (木)	佐倉市立中央公民館大ホール	<報告事項> *金銭・物品寄付に関する報告 *NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえの視察見学報告について *「佐倉こそだちフェス」へのブース出店報告について * (一社)MIRAI - KOMINKA for School SAKURA第2期プロジェクト(スイーツプロジェクト) 寄附贈呈式の報告について *LIFE DELI 佐倉店 からの子ども食堂活動との連携相談について *各団体からの活動概況報告 <協議事項> *あったかパントリー関係について * (株)ジイ・シイ企画と岩渕薬品(株)との地域通貨の推進について * (一社)MIRAI - KOMINKA for Schoolからの協力依頼について *佐倉青年会議所主催(実行委員会形式)とのイベントコラボについて *子ども食堂・地域食堂各団体のスタッフの方とのインタビューについて
2	5月18日 (木)	南部地域福祉センターB棟研修室	<報告事項> *金銭・物品寄付に関する報告について *各団体からの活動概況報告について <協議事項> *ノーツすこやかこども財団助成事業について *佐倉青年会議所(実行委員会形式)とのイベントコラボについて *ジイ・シイ企画と岩渕薬品との地域通貨の推進について *MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について *子ども食堂・地域食堂各団体のスタッフの方とのインタビューについて

3	6月20日 (火)	佐倉市立 中央公民 館研修室 2	<報告事項> *金銭・物品寄付に関する報告について *各団体からの活動概況報告について <協議事項> *MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について *こども食堂活動の市郵便物へのチラシ配布支援相談について *佐倉青年会議所企画「福祉フェスタ」のイベントコラボについて *レシピ勉強会の開催について *ジイ・シイ企画と岩瀬薬品との地域通貨の推進について *佐倉市こども支援部こども政策課からの調査依頼について
4	7月20日 (木)	佐倉市立 中央公民 館学習室 3	<報告事項> *金銭・物品寄付に関する報告 *さくらあったか食堂MAP更改版の作成について *各団体からの活動概況報告 <協議事項> *佐倉青年会議所企画「福祉フェスタ」のイベントコラボについて *レシピ勉強会の開催について *MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について *お米の支援協力先の開拓について
5	8月17日 (木)	南部地域 福祉セン ターB棟研 修室	<報告事項> *金銭・物品寄付に関する報告 *衛生管理研修の報告 *「さとにきたらええやん」(映画上映会:8/6)の報告 *「子育てネットワーク佐倉子育て応援団」と各課の交流会報告 *子ども食堂活動の取材依頼について *各団体からの活動概況報告 <協議事項> *佐倉市 空き家等の地域貢献活用支援事業について *佐倉青年会議所企画「福祉フェスタ」のイベントコラボについて *レシピ勉強会の開催について *お米の支援協力先の開拓について *MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について *「#学校ムリでもここあるよ」活動の周知・協力について *子ども食堂活動のアンケート・インタビュー調査のフィードバックについて

6	9月21日 (木)	西部地域 福祉セン ター会議 室1・ 2・3	<報告事項> *金銭・物品寄付に関する報告 *子ども食堂活動の取材依頼について *学習支援懇談会の報告について *千葉県子ども食堂連絡会の会議報告について *むすびえからのノーツ助成金に関する令和6年度助成に関するインタビュー対応報告について *各団体からの活動概況報告 <協議事項> *地域通貨の推進について *「福祉フェスタ」のイベント出店内容と役割分担について *レシピ勉強会の開催について *あったかパントリーについて *ライオンズクラブからのケーキ支援について *千葉県子どもネットワーク会議の開催案内について
7	10月19日 (木)	佐倉市立 中央公民 館学習室 3	<報告事項> *金銭・物品寄付に関する報告 *子ども食堂活動の「広報さくら」への取材対応について *MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について *地域通貨の推進に関することについて *さくらあったか食堂MAPの郵便局の周知協力について *各団体からの活動概況報告 *防災研修会の開催について <協議事項> *「福祉フェスタ」の振り返りと収支報告について *ライオンズクラブからのケーキ支援について *レシピ勉強会の開催について *子ども食堂活動の食材寄附品の取り扱いについて *佐倉市地域福祉計画で活用することも食堂写真の提供について *千葉県子ども食堂連絡会からの子ども食堂情報の更改について *子育てネットワーク佐倉子育て応援団からの相談について
8	11月16日 (木)	南部地域 福祉セン ターB棟研 修室	<報告事項> *金銭・物品寄付に関する報告 *子ども食堂活動の「広報さくら」への取材対応について *千葉県子ども食堂ネットワーク会議報告について *各団体からの活動概況報告 *新規子ども食堂立ち上げ相談の経過報告について <協議事項> *防災研修会の開催について *各子ども食堂の衛生管理状況の意見交換会について *令和6年度の定例会・役員会の開催日程と会場調整について *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への助成について *子育てネットワーク佐倉子育て応援団からの相談について

9	12月21日 (木)	西部地域 福祉セン ター会議 室1・3	<報告事項> *こども食堂活動への寄付について *佐倉高校生探求学習の活動発表会の報告について *クリスマスケーキ支援の報告について *新規子ども食堂立ち上げ相談の経過報告について *各団体からの活動概況報告 <協議事項> *「地域通貨」を活用した買い物について *防災研修会の開催について
10	1月18日 (木)	佐倉市立 中央公民 館学習室 3	<報告事項> *こども食堂活動への寄付について *新規子ども食堂立ち上げ相談の経過報告について *各団体からの活動概況報告 <協議事項> *ふるさと納税返礼品による子ども食堂団体への支援について *佐倉市広報番組への取材協力について *防災研修会の開催について *子ども食堂・地域食堂活動のリスク管理の現状について *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への加入申請書について *令和6年度さくらあったか食堂ネットワークの活動に向けて
11	2月15日 (木)	南部地域 福祉セン ターB棟研 修室	<報告事項> *ネットワークへの寄付に関する報告について *ともに歩むふくしプラン5への掲載について *全国こども食堂交流会 2024の参加について *各団体からの活動概況報告 <協議事項> *佐倉健康マラソンの清掃ボランティアの募集・協力について *佐倉市こども政策課からのネットワーク加盟食堂への支援について *ふるさと納税返礼品による子ども食堂団体への支援について *さくらあったか食堂ネットワーク研修会(防災研修会)の振り返りについて *令和6年度さくらあったか食堂ネットワークの活動に向けて *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への加入申請書について *ワーカーズコレクティブういず(柏市)経由のコストコからの寄付支援相談について *お弁当容器(令和6年度上半期分)の取りまとめについて

12	3月21日 (木)	西部地域 福祉セン ター会議 室1・ 2・3	<報告事項> * ネットワークへの寄付に関する報告について * 全国こども食堂交流会 2024の報告について * 佐倉健康マラソンの清掃ボランティア活動について * むすびえの防災研修について * 「食でつながるフェスタinちば」について * 佐倉高校SDGsプログラム第3期プログラム修了式報告について * 各団体からの活動概況報告について <協議事項> * 企業からの「地域通貨」支援の推進について * 佐倉市こども政策課からネットワーク加盟食堂への支援について * ノーツすこやか財団からの助成金について * (公財)オリックス宮内財団からの助成金について * あったかパントリー連絡会議の報告と今後の連携について * ふるさと納税返礼品による子ども食堂団体への支援について * 千葉県子ども食堂連絡会への加盟について * 志津市民プラザ(志津公民館)からの炊飯器活用相談について * お弁当容器(令和6年上半期分)の取りまとめについて * 令和6年度さくらあったか食堂ネットワークの活動に向けて
----	--------------	------------------------------------	--

(ウ) 役員会

No.	開催日	会場	内 容
1	4月13日 (木)	社会福祉 センター 2階会議 室	<協議事項> * 令和5年度「定期総会」について * NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえの視察見学報告について * 「佐倉こそだちフェス」へのブース出店報告について * SAKURAスイーツプロジェクト寄附贈呈式の報告について * LIFE DELIからの子ども食堂活動との連携方法の検討について * ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試行に向けた推進について * ㈱オカムラホームからの依頼事項について * 佐倉青年会議所主催(実行委員会形式)とのイベントコラボについて * あったかパントリー関係について * 子ども食堂・地域食堂各団体のスタッフの方とのインタビューについて

2	5月11日 (木)	社会福祉 センター 地下研修 室	<協議事項> * 佐倉青年会議所(実行委員会形式)とのイベントコラボについて * ジイ・シイ企画と岩渕薬品との地域通貨の推進について * MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について * ノーツすこやかこども財団助成事業について * 子ども食堂・地域食堂各団体のスタッフとのインタビューについて
3	6月8日 (木)	南部地域 福祉セン ター A棟会議室 1・2	<懇 談> * 株式会社NOve1様からの子ども食堂への支援相談について <協議事項> * MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について * 佐倉青年会議所企画の「福祉フェスタ」のイベントコラボについて * こども食堂活動の市郵便物へのチラシ配布支援相談について * レシピ勉強会の開催について * ジイ・シイ企画と岩渕薬品との地域通貨の推進について * 歳末たすけあい募金助成金／ボランティア活動助成金の募集について
4	7月13日 (木)	社会福祉 センター 2階会議 室	<報告事項> * こども食堂活動への寄付について * さくらあったか食堂MAP更改版の作成について <協議事項> * 佐倉青年会議所企画「福祉フェスタ」のイベントコラボについて * レシピ勉強会の開催について * MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について * さくらあったか食堂MAP更改版の配布先の検討について * お米の支援協力先の開拓について
5	8月10日 (木)	社会福祉 センター 2階会議 室	<報告事項> * こども食堂活動への寄付について * 「さとにきたらええやん」(映画上映会)の報告について <協議事項> * MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について * 子ども食堂活動への市からの支援 * 佐倉青年会議所企画の「福祉フェスタ」のイベントコラボについて * レシピ勉強会の開催について * 佐倉市 空き家等の地域貢献活用支援事業について * 子ども食堂活動の取材依頼について * 子育てネットワーク佐倉子育て応援団と各課の交流会について * お米の支援協力先の開拓について * 「#学校ムリでもここあるよ」活動の周知・協力について * 子ども食堂活動のアンケート・インタビュー調査のフィードバックについて

6	9月14日 (木)	社会福祉 センター 2階会議 室	<報告事項> *こども食堂活動への寄付について *子育てネットワーク佐倉子育て応援団と各課の交流会について *学習支援懇談会の報告について *「#学校ムリでもここあるよ」の活動報告について *子ども食堂活動の「広報さくら」への取材対応について *むすびえからのノーツ助成金に関する令和6年度助成に関するインタビュー対応について <協議事項> *地域通貨の推進について *「福祉フェスタ」のイベント出店内容と役割分担について *MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について *レシピ勉強会の開催について *あったかパントリーについて *さくらあったか食堂ネットワーク定例会の運営について *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への助成について *千葉県子ども食堂連絡会の会議報告について *さくらあったか食堂ネットワークの規約・細則について *千葉県子どもネットワーク会議の開催案内について
7	10月12日 (木)	社会福祉 センター 2階会議 室	<報告事項> *こども食堂活動への寄付について *子ども食堂活動の「広報さくら」への取材対応について *MIRAI-KOMINKA for School 第3期プログラム協力について <協議事項> *寄附米の不良品への対応について *「福祉フェスタ」の振り返りと収支報告について *千葉県子ども食堂連絡会への参加対応について *千葉県子ども食堂ネットワーク会議について *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への助成について *さくらあったか食堂ネットワークの規約・細則について *レシピ勉強会の開催について *防災研修会の開催について *子育てネットワーク佐倉子育て応援団からの相談について

8	11月9日 (木)	社会福祉 センター 2階会議室	<報告事項> *子ども食堂活動への寄付について *子ども食堂活動の「広報さくら」への取材対応について *千葉県子ども食堂ネットワーク会議報告について *新規子ども食堂立ち上げ相談の経過報告について <協議事項> *令和6年度の定例会・役員会の開催日程と会場調整について *各子ども食堂の衛生管理状況の意見交換会について *レシピ勉強会の開催について *防災研修会の開催について *千葉県子ども食堂連絡会への参加対応について *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への助成について *さくらあったか食堂ネットワークの規約・細則について *子育てネットワーク佐倉子育て応援団からの相談について
9	12月14日 (木)	社会福祉 センター 2階会議室	<報告事項> *子ども食堂活動への寄付について *新規子ども食堂立ち上げ相談の経過報告について *佐倉高校生の探求学習の発表会について <協議事項> *防災研修会の開催について *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への加入、各種助成について *地域通貨での買い物について
10	1月11日 (木)	社会福祉 センター 2階会議室	<報告事項> *ネットワークへの寄付に関する報告について *新規子ども食堂立ち上げ相談の経過報告について <協議事項> *防災研修会の開催について *ふるさと納税返礼品による子ども食堂団体への支援について *子ども食堂・地域食堂活動のリスク管理を考える(仮称) *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への加入申請書について *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への助成について *令和6年度さくらあったか食堂ネットワークの活動に向けて

11	2月8日 (木)	社会福祉 センター 2階会議 室	<報告事項> *ネットワークへの寄付に関する報告について *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への加入申請書について *オブザーバー参加希望について <協議事項> *さくらあったか食堂ネットワーク研修会(防災研修会)の振り返りについて *ともに歩むふくしプラン5(佐倉市地域福祉活動計画)への掲載について *全国子ども食堂交流会 2024の参加について *ふるさと納税返礼品による子ども食堂団体への支援について *ワーカーズコレクティブういず(柏市)経由のコストコからの寄付支援相談について *佐倉市子ども政策課からネットワーク加盟食堂への支援について *お弁当容器(令和6年上半期分)の取りまとめについて *千葉県子ども食堂連絡会への加盟について *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への助成について *令和6年度さくらあったか食堂ネットワークの活動に向けて *さくらあったか食堂ネットワークの会則の改正について *食でつながるフェスタin千葉の開催にかかるチラシの周知について
12	3月14日 (木)	社会福祉 センター 2階会議 室	<報告事項> *ネットワークへの寄付に関する報告について *全国子ども食堂交流会 2024の参加について *むすびえの防災研修について *「食でつながるフェスタinちば」について *佐倉市子ども政策課からネットワーク加盟食堂への支援について *コストコからの寄付品支援の相談について *オブザーバー参加希望について <協議事項> *KOMINKA for SCHOOL第3期プログラム修了式報告について *志津市民プラザからの炊飯器の活用相談について *ノーツすこやか財団からの助成金について * (公財)オリックス宮内財団からの助成金について *ふるさと納税返礼品による子ども食堂団体への支援について *あったかパントリー連絡会議の報告と今後の連携について *千葉県子ども食堂連絡会への加盟について *令和6年度さくらあったか食堂ネットワークの活動に向けて *さくらあったか食堂ネットワーク加盟団体への助成について *さくらあったか食堂ネットワークの会則の改正について

(ウ) 三役会

No.	開催日	会場	内 容
1	3月7日 (木)	市社協会 長室	<協議事項> *全国こども食堂交流会 2024の参加費の精算について *ふるさと納税返礼品による子ども食堂団体への支援について *ワーカーズコレクティブういず(柏市)経由のコストコからの寄付支援相談について *千葉県子ども食堂連絡会への加盟について *令和6年度さくらあったか食堂ネットワークの活動に向けて *さくらあったか食堂ネットワークの会則の改正について

(エ) 研修会

No.	開催日	会場	内 容
2	1月21日 (日)	佐倉市立 中央公民 館 大ホール	(1)研修会<講演> *テーマ:「災害時に子ども食堂ができること」 講演①:「災害時に子ども食堂ができることへの期待」について 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P) 社会福祉法人 中央共同募金会 理事・事務局長 講師:阿部 陽一郎 氏 講演②:「佐倉市の災害時における運営体制とボランティア団体等との連携」について 講師:佐倉市危機管理部 危機管理課 防災官 荒井 博友 氏 講演③「災害ボランティアセンターの運営体制とボランティア等との連携」について 講師:社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会 地域福祉推進グループ リーダー 岡本 一成 氏 (2)グループワーク テーマ:「災害発生時に子ども食堂ができることを考える」 *参加者70名(講師・事務局2名含む)

(オ) イベント関係

No.	開催日	会場	内 容
1	9月30日 (土)	草ぶえの 丘昔の民 家	第3回笑顔 de つながるふくしフェスタ参加 (佐倉青年会議所主催) *カレーライス販売 *バナナスムージ販売 *駄菓子・ソフトドリンク販売 *スーパーボールすくい

(カ) 子ども食堂（地域食堂）活動に関する講演など

No.	開催日	会場	内 容
1	11月8日 (水)	千葉商工 会議所	千葉県子ども食堂ネットワーク会議での実践報告 ＜実践報告者＞ ～ごはんでつながる仲間たちさくらあったか食堂ネットワーク～ 事務局 高橋 将紀
2	1月14日 (日)	和田ふるさと館	『和田の明日をみんなで考えよう』～地域食堂の可能性について～ ＜講師＞ 地域食堂ひだまりのたね 唯 愛 副代表 ＜総括＞ さくらあったか食堂ネットワーク 小林 眞智子 代表
2	3月20日 (水) 祝	千葉大学 西千葉 キャンパス	食でつながるフェスタinちば ＊あったかパントリーの活動事例報告 ＜事例報告者＞ ～ごはんでつながる仲間たちさくらあったか食堂ネットワーク～ 事務局 小林 勝

(キ) セミナー参加

2	2月24日 (土)	ビジョン センター 品川 301A・B	2024年全国交流会(むすびえ交流会) ＊オープニング(全体会) ＊分科会 ＊懇親会 ＊参加者3名
---	--------------	------------------------------	---

(ク) 子ども食堂（地域食堂）活動に関する視察対応

2	3月4日 (月)	夕焼けごはん（活動拠点）	NPO法人むすびえ・ノーツすこやかこども財団 「夕焼けごはん」との視察・懇談への協力 ＊視察者:2名、事務局1名
---	-------------	--------------	--

(ケ)KOMINKA for SCHOOL 第3期プログラム
(県立佐倉高校のSDGs探求学習)への協力

No.	開催日	会場	内 容
1	5月15日 (月)	県立佐倉 高等学校	*KOMINKA for SCHOOL 第3期プログラム キックオフ式 ・さくらあったか食堂ネットワークの活動説明 ・参加者:小林眞智子代表、松木悦子副代表 事務局高橋・小林(4名)
2	12月16日 (土)	イオンタウン ニューカリ が丘店東 街区1階	*KOMINKA for SCHOOL 第3期プログラム 活動報告会 ・子ども食堂をSDGs探求学習のテーマとした2チームの報告他 ・参加者:小林眞智子代表、事務局高橋(2名)
2	3月18日 (月)	県立佐倉 高等学校	*KOMINKA for SCHOOL 第3期プログラム 修了式・寄附式 ・子ども食堂をSDGs探求学習のテーマとした2チームの報告 ・さくらあったか食堂ネットワークへの収益金一部の目録授与 ・参加者:小林眞智子代表、事務局高橋(2名)

3 ボランティアセンター

実施内容

ボランティアの依頼や活動紹介のコーディネート、登録ボランティアへの活動支援、登録や保険に関する受付を行った。また、地域福祉センター、その他関係機関との連携、福祉教育やボランティア講座、広報等の情報発信により、新たな担い手の発掘、育成、ボランティア活動の普及推進の取り組みを行いました。

(1) ボランティア活動の普及・推進

(ア) ボランティアのコーディネート

ボランティアコーディネーターの配置

常勤体制でボランティアコーディネーターを配置し、コーディネート機能の充実を図った。また、各種研修会に積極的に参加することで、ボランティアコーディネーターのスキルアップや、関係機関とのネットワーク強化など、センター機能の強化をはかり、地域のボランティア活動の拠点としての機能の充実と活性化を図りました。

相談に対するコーディネート

種別	佐倉市VC	西部VC	南部VC	合 計
支援希望相談	77件	3件	5件	85件
活動希望相談	78件	38件	7件	123件
情 報 提 供	31件	20件	2件	53件

(イ) ボランティア情報提供

ボランティア情報提供

- ・ボランティア募集、助成金情報、各種研修会等情報提供（随時）
- ・ホームページでのボランティア団体情報提供（随時更新）
- ・ボランティア受入先紹介を作成し、社会福祉協議会のホームページに掲載
- ・ボランティア体験情報の継続提供

通年でボランティア体験が可能な団体・機関の情報を提供を行うことで、より身近な場所での地域活動に参加できる体制づくりに努めた。

(ウ) ボランティアの登録と斡旋

	グループ数 (通年)	グループ登録人数 (通年)
ボランティアグループ 登録団体数・人数	106団体	2,571名

	個人ボランティア (通年)
個人ボランティア 登録人数	166名

(エ) グループ活動費助成の交付

ボランティアグループの活動の育成を図ることを目的に、助成金の募集を行い
選考委員会による審査のうえ助成金の交付を行いました。

助成金交付決定団体:48団体	助成金交付決定額①		1,163,600円
※助成金交付団体 決定内訳	1. 新設団体助成	1団体	28,000円
	2. 備品購入助成	1団体	50,000円
	3. 活動助成	46団体	1,163,600円
助成金返還団体(予定):0団体	助成金返還金額②		0円
	助成金確定額①－②		1,163,600円

1. 新設団体助成(令和5年度)

No.	グループ名	助成金交付額	返還額	助成金確定額
1	パン田の会	28,000	0	28,000

2. 備品購入助成(令和5年度)

No.	グループ名	助成金交付額	返還額	助成金確定額
1	高齢者いきいきクラブ 「コケコッコ村」	50,000	0	50,000

3. 活動助成(令和5年度)

No.	グループ名	助成金交付額	返還額	助成金確定額
1	佐倉市こおろぎの会	25,000	0	25,000
2	佐倉地域文庫連絡会	25,000	0	25,000
3	むぎの会	25,000	0	25,000
4	ボランティアグループありんこ	22,000	0	22,000
5	まあるい会	25,000	0	25,000
6	ガールスカウト千葉県第84団	25,000	0	25,000
7	ふきのとう	25,000	0	25,000
8	手話サークル「希望」	25,000	0	25,000
9	虹の会	25,000	0	25,000
10	さくらネイチャーゲームの会	25,000	0	25,000
11	すおうの輪	15,000	0	15,000
12	ふれあいいきいきサロン白銀	25,000	0	25,000
13	佐倉印旛沼ネットワークの会	25,000	0	25,000
14	要約筆記サークル『あうん』	25,000	0	25,000
15	特定非営利活動法人印旛沼広域環境研究会	25,000	0	25,000
16	手話ダンス虹	25,000	0	25,000
17	西志津四季の会	25,000	0	25,000
18	手話サークルコアラの会	25,000	0	25,000
19	カレッジ園芸	25,000	0	25,000

20	ひの木太鼓	25,000	0	25,000
21	朗読サロン「こおろぎの輪」	25,000	0	25,000
22	花工房リーベ	25,000	0	25,000
23	草笛&リーフル「ハッピー〇はっぴ」	25,000	0	25,000
24	チーム麦畑	25,000	0	25,000
25	元気シルバー応援隊	14,600	0	14,600
26	ねっこの会	25,000	0	25,000
27	296アイアイ会	25,000	0	25,000
28	さくら輪の会	25,000	0	25,000
29	届けよう笑顔を！「ニコニコ合衆国」23	25,000	0	25,000
30	ユートピア時崎弁天	20,000	0	20,000
31	ハーモニーの会	25,000	0	25,000
32	花の散歩道	25,000	0	25,000
33	佐倉路地裏探検隊	25,000	0	25,000
34	かぐや姫	25,000	0	25,000
35	青い鳥の会	25,000	0	25,000
36	アロハ・プア・ナニ	20,000	0	20,000
37	佐っちゃん・倉くん応援隊25	13,000	0	13,000
38	キャロット白銀	25,000	0	25,000
39	NOUT(ノーツ)	25,000	0	25,000
40	NPO法人 さくらの咲く丘	25,000	0	25,000
41	歌声の広場	13,000	0	13,000
42	NPO法人 子どものまち	25,000	0	25,000
43	つながりネット印旛	25,000	0	25,000
44	印旛沼探検隊	25,000	0	25,000
45	子育てネットワーク佐倉子育て応援団	18,000	0	18,000
46	しづ食堂	25,000	0	25,000
合 計		1,085,600	0	1,085,600

(オ) ボランティアセンター運営委員会の開催

第 1 回	日 時	令和 5 年 6 月 1 日（木）午前 1 0 時～正午
	会 場	佐倉市社会福祉センター 2 階会議室
	報告事項	①前回会議要録について
		②令和 4 年度ボランティアセンター関連事業報告について
		③令和 5 年度ボランティアセンター事業計画と行事・イベントについて
		④令和 5 年度登録状況について
		⑤ボランティアセンターの相談状況について
	協議事項	⑥ボランティア団体の活動取材について
		①ボランティア活動助成対象選考委員会委員の継続について
		②今後のボランティア活動の推進について
第 2 回	出席者数	運営委員 9 名（欠席 2 名）
	傍聴者数	0 名
	日 時	1 0 月 2 4 日（火）午前 1 0 時～正午
	会 場	佐倉市社会福祉センター 2 階会議室
	報告事項	①前回会議要録について
		②令和 5 年度ボランティア活動助成金の助成団体について
		③福祉体験・福祉教育の活動について
		④ボランティア団体への活動取材について
		⑤共同募金への協力について
		⑥ボランティアセンターの相談状況について
	協議事項	①ボランティア活動の推進について
	出席者数	運営委員 9 名（欠席 2 名）
	傍聴者数	0 名
第 3 回	日 時	3 月 2 2 日（金）午前 1 0 時～正午
	会 場	佐倉市社会福祉センター 2 階会議室
	報告事項	①第 2 回会議要録について
		②令和 5 年度ボランティアセンター事業報告について
		③ボランティア団体への活動取材について
		④各ボランティアセンターの相談状況について
	協議事項	①（１）ボランティア活動の参加者を広げていくために ～ボランティア講座の検証と今後の推進方法に向けて～
	出席者数	運営委員 8 名（欠席 3 名）
	傍聴者数	0 名

(カ) ボランティア活動助成対象選考委員会の開催

第1回	日 時	7月20日(木) 午前10時～正午
	内 容	①諮問 1) 申請団体(新設団体助成・備品購入助成・ボランティア活動助成)の選考について ②議題 <プレゼンテーション> 1) 新設団体助成の申請について 2) 備品購入助成の申請について <選 考> 1) 新設団体助成の申請について 2) 備品購入助成の申請について 3) ボランティア活動団体助成の申請について <答 申>
	出席者数	委員6名(欠席1名)
	傍聴者数	0名

(キ) ボランティア会議

日 時	令和6年2月20日(火) 午前10時～正午 [団体向け]
会 場	西部地域福祉センター会議室1・2・3
内 容	①登録更新の手続きについて 1) 令和5年度活動報告書・決算書について 2) 令和6年度登録更新について 3) ボランティア活動保険について 4) 令和6年度ボランティア活動助成金について ②佐倉市ボランティア連絡協議会より ③情報交換会(フリートーク) 1) 活動中に災害が発生したら 2) 会員募集や活動継続で工夫していることについて ④各ボランティアセンターからの連絡事項

日 時	令和6年3月19日(火) 午前10時～11時30分 [個人ボランティア向け]
会 場	社会福祉センター地下研修室
内 容	①登録更新の手続きについて 1) 令和5年度活動報告書・決算書について 2) 令和6年度登録更新について 3) ボランティア活動保険について ②佐倉市ボランティア連絡協議会より ③情報交換会(フリートーク) ④ボランティアセンターからの連絡事項

(ク) ボランティア向け研修

日 時	1 2 月 3 日(日)午後 1 時～午後 3 時 3 0 分
会 場	西部地域福祉センター
内 容	車いす体験「車いすの操作を学ぶ」 講師：岡本一成 氏 車椅子操作・椅子の車輪の動き・段差・エレベーターの昇降・スロープ他) *参加者：2 5 名

(ケ) ボランティア講座

日 時	3 月 3 0 日(土)午前 1 0 時～正午
会 場	西部地域福祉センター
内 容	傾聴の基本を学ぶ *講師：心のふれあいボランティアひびき 代表 高橋 京子氏 *参加者：1 6 名

(コ) 佐倉市民カレッジさくら

日 時	6 月 2 7 日(火) 1 0 時～1 1 時 3 0 分
会 場	佐倉市中央公民館
参加者	受講生 6 9 名
内 容	○佐倉市社会福祉協議会（佐倉市社協）の紹介 ①佐倉市社協のめざすもの ②佐倉市社協の行う地域支援/個別支援（事業紹介） ③地域福祉コーディネーターモデル設置から見る地域支援の試行について ④新型コロナウイルスの影響による地域福祉活動の変化 ⑤withコロナによる地域福祉活動の展開 ～ボランティア/地区社協活動の取り組みから～ ⑥コミュニティカレッジ生のみなさまへ伝えたいこと（まとめにかえて）

(サ) 市民公益活動サポートセンター主催事業

日 時	7月27日(木) 午前10時～正午
会 場	佐倉市志津公民館
参加者	受講生2名
内 容	テーマ：ボランティア活動を始める前に知っておきたいこと ①社会福祉協議会（社協）・ボランティアセンターの紹介 ②ボランティア活動とは・4つの原則・心がまえ など ③佐倉市内のボランティア活動の紹介 ④ボランティア活動実践者からの講話 ～子ども食堂・学習支援・高齢者の配食ボランティア活動を通じて～ ⑤ボランティア活動をこれからするために

(2) 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援

活動費助成	250,000円 (※令和5年度活動費助成決定額)
活動内容等	①役員会の開催 ②運営委員会の開催 ③広報紙（V連協だより・はらっぱ）の発行 ④ボランティアのつどいの開催 ⑤Zoomを活用した加盟団体同士の交流機会 ⑥ボランティアセンター活動 ⑦社会福祉協議会活動への協力（各種委員会委員） ⑧街頭募金活動への協力 など
支援内容等	①役員会への出席・活動支援 ②運営委員会への出席・活動支援 ③広報紙発行に向けた側面支援・連絡調整 ④ボランティアのつどいの開催に向けた側面支援 ⑤ボランティア会議での活動紹介の機会づくり ⑥活動上の相談・支援、施設利用手続き、連絡調整 など

(3) 福祉教育推進事業

(ア) 福祉学習に関する企画・実践への支援

No.	依頼者・実施場所	実施日	支援内容
1	根郷中学校 (2年生)	7月6日 (木)	①聞こえないことへの理解(聴覚障がい者からの講和) ②手話体験(手話サークル「希望」の協力)
2	佐倉小学校 (5年生)	7月7日 (金)	車いすの基本的操作と演習(体育館内)
3	上志津小学校 (6年生)	9月28日 (木)	車いすの基本的操作と演習(体育館内)
4	王子台小学校 (5年生)	10月16日 (月)	①聞こえないことへの理解(聴覚障がい者からの講和) ②手話体験(手話サークル「希望」の協力)
5	臼井西中学校 (1年生)	11月1日 (水)	①見えないことについて(点訳サークル野菊の会の協力) ②聞こえないことについて(手話サークル「希望」の協力) ③認知症について ④募金活動について ⑤サロン活動について ※グループに分かれてそれぞれ活動を実施
6	間野台小学校 (3年生)	12月14日 (木)	①聞こえないことへの理解(聴覚障がい者からの講和) ②手話体験(手話サークル「希望」の協力)

4 企画広報

(1) 広報啓発事業

実施内容

社会福祉への理解と参加を促進するため、広報活動を展開し「わかりやすい広報づくり」を念頭に「社協さくら」を年3回発行した。また、Facebookも活用して社会福祉協議会活動の動向を積極的に発信し、関心と理解、協力を得られるように努めた。年々減少しているホームページのアクセス数は、今後ブランド構築の取り組みと併せてアクセス数増加に取り組む。

(ア) 社協さくらの発行

No.	号 数	発行年月日	発行部数	折込部数
1	第209号	令和5年7月1日	41,650部	40,350部
2	第210号	令和5年10月1日	40,050部	38,750部
3	第211号	令和6年3月1日	40,050部	38,750部

(イ) ホームページ

アドレス <http://www.sakurashakyo.or.jp>

年度	アクセス数	月平均アクセス数
5	9,931件	828件
4	10,768件	897件
3	11,900件	992件

(ウ) その他の広報活動

No.	内 容
1	Facebookへの投稿（フォロワー数864名）
2	千葉県社協広報紙「福祉ちば」を関係者に配布

5 善意銀行

実施内容

広く市民の善意を金銭及び物品として受け、これを効果的に還元した。小口貸付資金は、生活保護世帯または、それに準ずる世帯の一時的な困窮を切り抜けるための費用として無利子で貸付を行うものである。相談内容が従来に比べ多様化しているため、民生児童委員や行政、関係機関等と連携して相談から償還までの支援を行った。また、物品預託については、生活困窮者世帯や市内子ども食堂、学習支援団体等への支援に活用した。

(1) 金銭、物品の預託、払い出し

(ア) 金銭口座

預 託

種別	5年度		4年度		3年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般預託	14	5,293,137	14	551,930	11	194,240
指定預託	10	591,731	7	788,599	7	585,000
合 計	24	5,884,868	21	1,340,529	18	779,240

払 出

払出	5年度		4年度		3年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
災害見舞	2	40,000	7	140,000	3	50,000
帰宅旅費	13	5,640	9	4,190	6	2,880
指定払出	10	591,731	12	788,599	5	400,000
合 計	25	637,371	28	932,789	14	452,880

(イ) 物品口座

物品名	預託件数(件)			払出件数(件)		
	5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度
食 品	314	349	397	454	509	553
その他	65	85	86	45	62	45
合 計	379	434	483	499	571	598

(2) 小口貸付事業

貸付件数

世帯種別	5年度		4年度		3年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活保護世帯	71	2,705,000	60	2,200,000	65	2,673,000
生活保護申請世帯	5	145,000	0	0	1	40,000
一般世帯	29	1,105,000	46	1,892,000	38	1,575,000
合計	105	3,955,000	106	4,092,000	104	4,288,000

償還額

償還額(円)	5年度	4年度	3年度
	3,553,195	3,293,400	4,288,000

(3) フードドライブへの協力

実施期間	件数	総重量
第33回(令和5年5月15日～6月30日)	35件	356.8kg
第34回(令和5年9月18日～10月31日)	48件	839.2kg
第35回(令和6年1月15日～2月29日)	35件	196.5kg

6 在宅福祉事業

実施内容

家に閉じこもりがちな高齢者が、地域においてボランティア等と共にふれあいの機会を持つことにより、いきいきとした生活ができるよう支援を行った。

(1) ふれあい・いきいきサロン

No	グループ名	実施回数	延利用者数
1	ふれあいいきいきサロン白銀	17回	57人

(2) ふれあい型食事サービス

No	グループ名	実施日	対象者数
1	ふきのとう	毎月第1金曜日	310人
2	むぎの会	毎月第2火曜日	264人
3	虹の会	毎月第2金曜日	279人
4	すおうの輪	毎月第3火曜日	36人
5	キャロット白銀	毎月第2木曜日	38人
合 計			927人

食事サービスグループ懇談会

日 時	コロナ禍の影響で参集形式の懇談会は中止
内 容	コロナ禍で懇談会は中止となった。

(3) おもちゃ図書館

開館状況

開館場所	西部地域福祉センター		南部地域福祉センター		合 計
開館日	第2水曜	第3土曜	第2土曜	第4水曜	
開館回数	12回	12回	3回	12回	39回
利用者数	80人	139人	20人	415人	654人
うち障がい児数	2人	1人	0人	122人	125人
貸出点数	56点	67点	15点	112点	250点
ボランティア数	57人	34人	11人	47人	149人
修理ボランティア数	9人	0人	3人	12人	24人

会議・研修の参加 9回・21人(全体ミーティング、クリスマス会打ち合わせ、県連絡会、全国連絡会)

(4) 車イス貸出事業

実施内容

市内在住の高齢者・傷病者などの外出や日常生活を支援するために車椅子を無料にて貸出した。小・中学校での福祉教育などの教材としても貸出を行った。貸出窓口については、西部地域福祉センター（8台保有）、南部地域福祉センター（7台保有）及び市内20カ所の郵便局（各1台保有）にて行い、市民の利便性の向上に努めた。令和5年度は前年度に比べ利用台数は微増であるが、ホームページを見たり、地域包括支援センターからの紹介による問い合わせが増えている。

区分別利用台数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
郵便局	12	9	5	13	10	8	57
西部地域福祉センター	11	8	7	16	18	18	78
南部地域福祉センター	7	6	5	7	6	11	42
合 計	30	23	17	36	34	37	177

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度計
郵便局	9	11	6	8	6	13	53	110
西部地域福祉センター	16	14	13	13	16	17	89	167
南部地域福祉センター	11	4	7	6	4	5	37	79
合 計	36	29	26	27	26	35	179	356

年度別貸出台数

区 分	5年度	4年度	3年度	2年度	元年度
郵便局	110	141	111	71	112
西部地域福祉センター	167	100	65	42	57
南部地域福祉センター	79	107	58	38	60
合 計	356	348	234	151	229

（５）菊地久治奨学福祉事業

（ア）勉学奨励奨学金

実施内容

佐倉市在住のひとり親世帯で低所得世帯に属する、意欲と能力のある学生の勉学支援を行うため、奨学福祉事業を実施している。令和６年度奨学生について、大学進学者、大学在学者の両方を対象に７月に募集、９月に第１次選考、１０月に第２次選考をおこない、大学進学者１名を決定した。また、在籍奨学生の育成支援として、成績報告会や合同研修の実施の他、学業・生活等の個別の相談やボランティア活動の紹介を行った。

a．勉学奨励奨学金 交付件数・金額（内訳）

年 度	在学生	進学決定者	合 計	交付額計
令和５年度	６	１	７	３,８２１,５６０円
令和４年度	８	１	９	８,０７４,４９０円
令和３年度	７	１	８	７,０８４,０００円

※進学決定者は、その年度において、大学進学者向け募集で決定した者

※交付額は、在学生の当該年度学校納入額＋進学決定者の入学時納入金額の合計（令和２年度より国の奨学金制度による授業料免除が導入され、年度をまたいだ返還があり、年度の支出額と差異がでる場合がある。）

b 卒業生・その他(辞退等)

年 度	
令和５年度	３
令和４年度	４
令和３年度	０
令和２年度	０
令和元年度	５
平成３０年度	４
平成２９年度	１
平成２８年度	２
平成２７年度	５
平成２６年度	２
平成２５年度	２(うち辞退１名)
平成２４年度	１

※平成２９年度卒業生（大学在学生１名）は、支給延長により、平成３０年度大学院に入学した。

c 広報ＰＲ・募集活動

令和６年度募集に関して、県内高等学校、対象と想定する大学、ホームページ、民生委員児童委員協議会へ募集案内を周知した。

d 奨学生選考委員会
大学進学希望者

回 数	開 催 日	会 場	出席者数	内 容
第1回	9月9日(土)	2階会議室	委員5名 職員3名	・諮問 ・奨学生第一次選考について(書類選考)
第2回	10月7日(土)	2階会議室	委員5名 職員3名	・奨学生第二次選考について(面接)
答申	10月19日(木)	※書面にて答申を行った。		

e. 奨学生への支援

月次報告の他、随時奨学生と連絡し、生活面・家庭面・学業面で困りごとや悩みごと等の状況確認を行い、奨学生への支援を行った。また、奨学生へ佐倉市内での社会奉仕活動についての情報を伝え、活動を支援した。

f 研修

奨学生が地域の活動や課題に触れ、学ぶ機会を通して、自ら意欲的に社会貢献できる人材を育成すること、また、奨学生同士の交流を通して互いに切磋琢磨しながら成長できることを目的に、奨学生の合同研修を年2回実施した。

夏期研修

日 時	会 場	出席者	内容
8月5日(土)	佐倉市民花火大会会場	奨学生4名 事務局4名	ボランティアリーダーとして、ボランティアの受付をこなした。また、敷席、有料観覧席、無料観覧席の3グループに分かれ移動中の安全確保、活動の統括等を行った。

冬期研修

日 時	会 場	出席者数	内容
3月20日 (水)～21 (木)	草ぶえの丘 シェアハウス	奨学生6名 卒業生2名 事務局7名	宿泊研修を行い、奨学生同士の親睦を図った。また、卒業生に参加してもらい、OB・OG同志や奨学生とOB・OGとの交流の在り方について検討した。二日目は1年間の学業・生活状況を個別に発表し、互いに講評をした。

g 生活状況報告会

奨学生より学校生活・学業成績・社会奉仕活動状況の報告を受け、次期に取り組む活動の課題と目標を整理して奨学生の一層の資質の向上につなげることを目的として成績報告会を2回開催した。

日 付	時 間	内 容
10月7日(土)	12時30分～15時	・奨学生の前期学業成績 ・生活状況についての個別面談
3月20日(水)	9時～12時15分	・奨学生の後期学業成績 ・生活状況についての報告

(イ) 勉学奨励一時金

実施内容

令和5年度に生活福祉資金貸付事業の教育支援資金を借受者に対して入学時に勉学奨励一時金を交付した。

勉学奨励一時金 交付件数・金額(内訳)

年 度	高等学校	専門学校	短期大学	大 学	その他	合 計	交付額
令和5年度	1	3	0	5	0	9名	310,000円
令和4年度	2	6	0	4	0	12名	380,000円
令和3年度	2	1	2	3	0	8名	250,000円

(6) 法人後見事業

実施内容

福祉サービス利用援助事業で培った高齢者や障害のある人への支援のノウハウを活かし、成年後見制度を活用し本人の意思決定を尊重した支援を行い、本人の権利擁護を実践した。

(ア) 成年後見制度に関する広報・啓発活動

(イ) 成年後見制度に関する相談業務

※ ア・イについては、成年後見支援センター事業で報告。

(ウ) 成年後見人等の受任の可否に係る弁護士、司法書士との協議

(令和5年9月6日 第1回受任可否会議開催)

(エ) 後見業務（被後見人等の身上保護及び財産管理）（令和5年4月～令和6年3月）

	被後見人等	後見類型	生活形態	審判の確定日	支援回数
1	知的障害・男性 60歳	保佐	グループホーム入所	平成24年11月13日	251
2	精神障害・女性 59歳	後見	精神病院入院	平成24年12月8日	36
3	精神障害・男性 58歳	保佐	在宅	平成26年6月3日	54
4	精神・高齢男性 74歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和3年9月14日	53
5	高齢者・女性 83歳	後見	特別養護老人ホームから療養病棟のある病院へ変	平成28年6月3日	74→死亡
6	高齢者・女性 90歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年3月22日	35
7	高齢者・女性 97歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年6月14日	48
8	高齢者・女性 93歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年11月3日	30→死亡
9	知的障害・男性 54歳	保佐	在宅	平成29年11月29日	67
10	高齢者・女性 90歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成30年6月7日	95
11	精神障害・女性 63歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成30年12月28日	56
12	高齢者・男性 83歳	後見	ショートステイ利用	平成31年2月28日	79→死亡
13	高齢者・女性 93歳	後見	有料老人ホーム入所	平成31年3月5日	51
14	高齢者・女性 85歳	後見	在宅	令和2年8月14日	92→死亡
15	精神障害・男性 43歳	保佐	在宅	令和2年12月22日	140
16	高齢・身体 女性 82歳	後見	精神病院入院	令和3年9月9日	96
17	高齢者・女性 88歳	保佐	老人保健施設入所	令和3年9月29日	83
18	知的障害・女性 62歳	後見	障害者支援施設	平成19年8月28日	43

(オ) 監督業務（成年後見人の交代案件） （令和5年4月～令和6年3月末）

	被後見人	後見類型	生活形態	選任の確定日	後見人
1	高齢者・女性 82歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和3年6月22日	NPO法人 佐倉市民後見人 協会

(カ) 後見業務における弁護士、司法書士等の専門家との連携

- ・必要に応じて弁護士相談や専門相談（成年後見支援センター）、および電話対応。

(キ) 関係機関との連携

- ・銀行や郵便局との関わり
- ・家庭裁判所との関わり
- ・佐倉市役所関係各課との関わり（健康保険課・高齢者福祉課・障害福祉課・社会福祉課等）
- ・被後見人等の親族との関わり
- ・福祉関係機関（福祉施設、包括支援センター、相談支援事業所、在宅福祉サービス事業所等）との関わり
- ・病院、保健所等保健・医療機関との関わり
- ・弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職及び職能団体との関わり
- ・NPO法人佐倉市民後見人協会との連携

(7) 移動サービス事業

実施内容

電車、バス、タクシーといった公共交通機関を利用して一人で外出することが困難な高齢者や障がい者等が、通院、福祉サービスの利用や趣味などの社会参加を図るため、市民相互による支え合い事業として移動サービス事業を実施した。
コーディネーター6名体制で事務局スタッフとコーディネーターによるケース会議を月2回開催し、利用会員の調査、協力会員の研修、サービスのコーディネートを行い、事業を実施した。

(ア) 会員の状況

利用会員（メンバー）の状況

会員種別	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用会員 (メンバー)	46名	48名	63名
	介護認定38人、障がい者17人、その他3人（重複あり）	介護認定39人、障がい者19人、その他3人（重複あり）	介護認定51人、障がい者20人、その他4人（重複あり）
協力会員 (サポーター)	19名	15名	18名
後援会員 (スポンサー)	8件 17,000円	10件 22,000円	12件 32,000円

(イ) 利用目的別回数

年 度	通 院	送 迎	趣 味	買 物	その他	合 計
令和5年度	495	65	10	89	19	678回
令和4年度	465	16	3	67	14	565回
令和3年度	569	25	0	115	25	734回

※令和3年度より、（回数）集計方法を法人主体の移動サービス事業補助金報告に合わせた。

(ウ) 運行実績

年 度	稼働日	回 数	活動距離数	活動時間数	車両数
令和5年度	209日	678回	4,605.00km	796時間27分	4台
令和4年度	184日	565回	3,975.00km	626時間54分	4台
令和3年度	212日	734回	5,004.00km	811時間36分	4台

※令和3年度より、（回数）集計方法を法人主体の移動サービス事業補助金報告に合わせた。

(エ) サポーター基本研修

年 度	実施日	参加者（修了者）
令和5年度	9月2日（土）、9月3日（日）	5名

内 容	・移動サービス概論 移動サービス活動の実際、移動サービスの利用者を理解する接遇と介助 ・移動サービスでの運転に必要な知識と心構え 福祉車両について、運転実技 ・移動サービスに必要な介助技術 交通安全講習、修了証書授与（後日交付）
-----	--

（オ）サポーター現任者研修・交流会

年 度	実施日	内 容	参加者
令和5年度	2月8日（木）	福祉車両の特殊事例の共有 ミニキャブリフト手動操作、バッテリー位置確認、 ファンカーゴ車椅子固定について	3名

（カ）移動サービスコーディネーター会議

年 度	令和5年度
開催回数	24回

毎月2回、コーディネーターと職員が集まり、新規訪問ケースの報告・検討、訪問予定
ケースの報告・調整、移動サービス運行上のケース情報の共有を行い、日常的運行の円滑
化を図った。

(8) 生活困窮世帯子ども支援事業

実施内容

元気に育て子ども基金を財源に、佐倉市在住で経済的な理由等により、生活困窮世帯に属する子どもが、健やかに育つように必要な資金として支援金を交付し、世帯の自立援助に寄与するために実施した。

(ア) 支援金交付実績

	件数	金額(円)	主な使途
4月	3	178,230	・ひとり親世帯、多子世帯の高校進学に伴う制服代や教材代等の支援 ・ひとり親世帯、緊急転居による引越し初期費用等の支援
6月	1	100,000	・ひとり親、障がい者世帯の子の学校納入金と家賃更新費用の支援
10月	1	85,000	・障がい者世帯の子の修学旅行費用の支援
12月	1	70,000	・子の緊急転居のための生活用品等の諸費用の支援
合計	6	433,230	

(イ) 関係機関などとの連携

生活困窮者自立支援事業での相談支援やこども家庭課、学校、民生委員など関係機関と連携し、困窮世帯の子ども支援に取り組んだ。

(9) 終末ケア・終活支援事業

実施内容

エンディングノート 「心の遺言ノート」 の告知をホームページや各種会議で行い、関係機関へ宣伝して15部を販売した。また、福祉功労者表彰式において、表彰者へ記念品として配布した。

7 福祉総合相談事業

実施内容

日常生活上のさまざまな悩みを抱える地域住民に対して、相談に応じ、相談者ごとの諸問題について適切な助言と援助を行うことで、問題解決に向けての協力を行った。
相談に対して即応し、早期問題解決へつなげるよう心配ごと相談窓口を開設した。さらに、内容によっては法律相談などの専門相談や関係機関へ結ぶなどの対応を行った。
また、相談員のスキルアップを目的として、佐倉市市民相談員との合同研修会を2回開催した。

ア 設置状況

相談内容	開設場所		開設日	開設時間
心配ごと相談	佐倉	社会福祉センター	毎週月曜日	10:00～15:00
	志津	西部地域福祉センター	第1・3水曜日	10:00～15:00
	根郷	南部地域福祉センター	第2・4金曜日	10:00～15:00
法律相談	社会福祉センター		毎月第4月曜日	10:00～15:00
介護生活相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
ボランティア相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
貸付相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00

イ 福祉総合相談所相談状況

相談名	相談件数			相談内容件数		
	5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度
心配ごと相談(佐倉)	49	36	32	56	38	34
〃 (志津)	16	23	15	17	24	16
〃 (根郷)	10	12	10	14	12	10
法律相談	61	90	40	69	118	62
介護生活相談		24	29		24	29
ボランティア相談	261	324	221	261	324	221
合計	397	509	347	417	540	372

ウ 内容件数内訳 (心配ごと相談・法律相談)

相 談 事 項		心 配 ご と									法 律			合 計 (心配ごと+法律)		
		佐倉			志津			根郷			佐倉					
		5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度
1	年 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	4	4
2	生 計	9	0	1	1	0	0	0	0	0	7	1	1	17	1	2
3	職業・生業	2	0	0	0	0	1	1	0	0	3	0	1	6	0	2
4	住 宅	4	0	2	1	4	3	2	0	1	13	2	3	20	6	9
5	家 族	13	14	6	7	11	6	6	4	2	3	5	3	29	34	17
6	DV問題	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0
7	結 婚	0	1	8	0	0	1	1	0	1	0	17	4	1	18	14
8	離 婚	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	8	0	3	9	1
9	健康・衛生	4	1	2	0	0	0	2	0	1	0	0		6	1	3
10	医 療	2	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	2	4	2	2
11	精神保健福祉	0	3	0	0	0	0	1	2	0	1	34	21	2	39	20

12	人権・法律	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	30	20	1	33	20
13	財 産	6	4	3	2	2	0	1	1	0	30	14	2	39	21	5
14	事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
15	児童・母子保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	教育・青少年	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
17	心身障がい者福祉	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0
18	母子・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
19	高齢者福祉	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
20	苦 情	2	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	3	4	0
21	ボランティア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	4
22	近 隣	5	7	3	2	2	3	0	2	2	1	0	0	8	11	8
23	その他	5	3	5	2	0	2	0	2	1	3	0	0	10	5	8
24	ひきこもり	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合 計		56	38	34	17	24	16	14	12	10	69	118	62	156	192	122

エ 会議及び研修

(ア) 市民相談員及び心配ごと相談員合同研修

日 時	令和5年8月30日（水） 午後2時～3時30分
場 所	社会福祉センター3階中会議室
内 容	テーマ「空き家等に関する法律について」 講師 佐倉市住宅課 相内 俊彦 氏

日 時	令和6年2月20日（火） 午後2時～3時30分
場 所	社会福祉センター3階中会議室
内 容	テーマ「相続に関する相談対応について」 講師 司法書士 白井 則邦 氏

(イ) 心配ごと相談員会議

日 時	令和5年8月30日（水） 午後3時40分～4時20分
場 所	社会福祉センター2階会議室
内 容	報告 （1）近年の心配ごと相談の状況について （2）印旛ブロック他市町社協相談所の現状について 意見交換 （1）活動上の課題や意見について （2）下期の研修内容について （3）事務局との連絡体制について

日 時	令和6年2月20日（火） 午後3時40分～4時10分
場 所	社会福祉センター2階会議室
内 容	（1）令和6年度第一四半期の勤務体制について （2）相談員の退任について （3）相談業務に関する意見交換

8 受託事業

(1) 声の広報等発行事業

実施内容

市内在住の視覚に障がいのある方々に対して、地域で生活していくために必要な情報を載せた広報紙を音声や点字に変換して提供を市民ボランティアの協力を得て情報提供を行った。また、点訳・音訳活動ボランティアや障がい当事者の協力を受け小学校での福祉教育を開催し、障がい者理解の一助につなげた。

【音訳】

発行広報	活動回数	送付した数	ボランティア数
こうほう佐倉	24回	591名／延べ人数	136名
(こうほう佐倉以外の特集号) 福祉特集(7月) 防災特集(9月) 佐倉市決算(11月) 確定申告(2月・3月)	5回	119名／延べ人数	28名
社協さくら(7月・10月)	2回	49名／延べ人数	10名
月刊こおろぎ	7回	169名／延べ人数	37名
風媒花	1回	24名／延べ人数	12名
健康カレンダー(4月)	1回	25名／延べ人数	5名
ゴミカレンダー(4月)	1回	25名／延べ人数	5名
佐倉市議会議員一般選挙 公報(4月)	1回	25名／延べ人数	7名
個人からの依頼(個人契約書) 佐倉市社協 権利擁護班 経由	2回	1名／延べ人数	5名
計	44回	1,028名／延べ人数	245名

【点訳】

発行広報・書類	活動回数	送付した数	ボランティア数
野菊通信	9回	112名／延べ人数	45名
盲学校/盲学校PTA からの依頼	3回		5名
佐倉南図書館からの依頼	1回		9名
福祉教育講話用資料作成	1回		1名
計	14回	112名／延べ人数	60名

※このほか「勉強会」を4回開催しました。

（２）障害について学ぶ市民講座

実施内容

【第１３回障害者作品展『ふれあいギャラリー』】

日 時	2月23日（金）～25日（日）午前10時～午後6時 ※23日（金）は午前10時15分開始 25日（日）は午後3時終了
場 所	佐倉市立美術館 3階市民ギャラリー
作品出展	202名（個人17名、団体185名・26団体）
作 品 数	169点
来場者数	681名

実行委員18名

実行委員会	第1回	9月26日（火）午前10時～正午	17名出席
	第2回	12月4日（月）午前10時～正午	17名出席
	第3回	2月8日（木）午前10時～正午	14名出席
	第4回	3月12日（火）午前10時～正午	13名出席

(3) 生活福祉資金貸付事業

実施内容

千葉県社会福祉協議会から受託しているこの事業は、低所得世帯、高齢者世帯、障がい者・児世帯に対して、経済的自立と更生意欲の助長促進を図ることを目的としている。相談援助の中で必要な資金の貸付を行い、その後も継続して民生委員はじめ関係機関との連携のもとで、借受世帯を見守り、支援している。

新型コロナウイルスの影響による特例貸付の償還が開始されたが、継続して経済的な自立が困難であったり、新たな課題が浮彫になった世帯もあり、生活困窮者自立支援窓口や地域担当部署等とも連携をしながら、見守り、相談支援を行った。

(ア) 生活福祉資金貸付件数

資金種類		貸付決定件数(件)／金額(円)内訳					
		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
総合支援資金	生活支援費						
	住宅入居費						
	一時生活再建費						
	増額申請						
	生活支援費(特例貸付)			8	2,640,000	175	106,380,000
	生活支援費(特例延長)						
	生活支援費(特例再貸付)					308	162,700,000
緊急小口資金		47	2,540,000	87	5,415,000	73	4,165,000
緊急小口資金(特例貸付)				30	5,080,000	241	42,560,000
臨時特例つなぎ資金						0	
教育支援	教育支援費・就学支度費	17	10,128,000	23	13,505,000	8	8,150,000
福祉費	転宅費	1	296,600			1	175,000
	障害者自動車購入費	1	1,100,000	1	1,490,000		
	療養費					1	1,061,000
	福祉用具購入費	1	666,000				
	住宅改修費						
	小規模住宅改修						
	災害援護費						
	技能修得費						
	冠婚葬祭					1	136,400
復興支援資金							
不動産担保型生活資金							
要保護世帯向け不動産担保型生活資金							
合 計		67	14,730,600	149	28,130,000	808	325,327,400

(イ) 貸付関係相談件数

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
貸付関連相談件数(延べ)	796件	-	-

※ 特例貸付の対応は、事務局全体で初期相談、経過確認、連絡等を行ったため件数集計できず。

(ウ) 生活福祉資金借受世帯支援状況の調査

12月に民生委員・児童委員協議会と連携し、生活福祉資金借受世帯に対する民生委員の支援活動状況の把握調査を行った。

(4) 日常生活自立支援事業

実施内容

千葉県社会福祉協議会からの委託事業として、高齢者や障がい者等判断能力に不安のある方が、安心して地域生活を送るために、必要な福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理をご本人との契約により行うとともに、本事業の普及を行った。

(ア) 実施状況 令和6年3月末現在

年 度	5 年度(人)	4 年度(人)	3 年度(人)
新規契約者数	18	11	21
解 約 数	16	25	19
契約締結審査 会 承 認 数	6	6	10
事務局審査承認数	15	8	11

	5 年度(人)	4 年度(人)	3 年度(人)
利 用 者 数	98	96	110
生活支援員数	31	22	20

	5 年度(件)	4 年度(件)	3 年度(件)
福祉サービス利用 援 助	98	96	110
財 産 管 理	98	96	108
財 産 保 全	7	8	5

対象別	契約ケース			解約ケース		
	人 数			人 数		
	5 年度	4 年度	3 年度	5 年度	4 年度	3 年度
高 齢 者	61	62	69	12	19	17
知的障がい	9	9	9	0	0	0
精神障がい	29	30	34	4	5	2
そ の 他	14	12	14	0	2	1
合 計	113	113	126	16	26	20

※重複あり

(支援回数)

回数別	人 数		
	5 年度	4 年度	3 年度
月 1 回	65	61	68
月 2 回	19	24	27
週 1 回	3	2	3
そ の 他	11	9	12
合 計	98	96	110

(イ) 契約締結審査会

(件)

回数	開催日時	新規	評価	解約	契約変更	その他
第278回	4月18日(火)	1	9	1	0	1
第279回	5月23日(火)	1	5	2	0	0
第280回	6月20日(火)	1	5	1	0	0
第281回	7月18日(火)	0	6	0	0	0
第282回	8月22日(火)	0	4	1	1	0
第283回	9月19日(火)	0	9	1	0	0
第284回	10月17日(火)	0	4	1	2	0
第285回	11月21日(火)	0	11	2	0	0
第286回	12月19日(火)	1	10	1	0	0
第287回	1月23日(火)	0	6	1	1	0
第288回	2月20日(火)	1	9	1	1	0
第289回	3月19日(火)	1	11	3	0	0
合計		6	89	15	5	1

(ウ) 連絡会議

日 時	令和5年7月26日(水) 14:00～16:00
場 所	事務局 会議室 【Web開催】
出 席 者	専門員2名
内 容	第1回 日常生活自立支援事業連絡会議 令和5年度事業業務委託費について、令和6年度日常生活自立支援事業に係る予算について、事業実施上の課題等に関する意見交換

日 時	令和6年3月1日(金) 14:00～16:00
場 所	事務局 会議室 【Web開催】
出 席 者	専門員2名
内 容	第2回 日常生活自立支援事業連絡会議 令和6年度事業業務委託費(案)について、その他、事業実施上の課題等に関する意見交換、今後のスケジュールについて

(エ)生活支援員研修（佐倉市社会福祉協議会主催）

日 時	令和5年6月26日（月） 13：30～15：00
場 所	社会福祉センター 地下研修室
出 席 者	生活支援員12名
内 容	「意思決定支援について」、質疑応答、その他

日 時	令和5年11月24日（金） 13：30～15：00
場 所	社会福祉センター 地下研修室
出 席 者	生活支援員16名
内 容	グループディスカッション「支援員活動を行う上で工夫している点について」①個人情報について②傾聴はするが、長くならないようにどう工夫しているか、その他

(オ) その他研修会・会議等（県社会福祉協議会主催）

日 時	令和6年1月29日（月） 13：30～16：00
主 催	千葉県社会福祉協議会 千葉県後見支援センター、千葉市社会福祉協議会 千葉市成年後見支援センター
場 所	事務局 会議室 【Web開催】
出 席 者	専門員6名
内 容	「令和5年度 日常生活自立支援事業生活支援員・担当者等研修会」 基調講義：「判断能力とはどのようなものか～精神医学の立場から～ 実践発表：「判断能力の低下に伴う利用者の生活の変化における支援について」

日 時	令和6年3月26日（火） 13：20～15：30
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター
場 所	事務局 地下研修室 【Web開催】
出 席 者	専門員6名、NPO法人佐倉市民後見人協会理事長1名
内 容	「令和5年度法人後見専門員研修会」 基調講義：「法人後見に求められること」 情報共有・意見交換：「法人後見における責務と担い手に求められる資質とは何かを考える」

(5) 成年後見支援センター

実施内容

令和2年4月より中核機関として成年後見制度の更なる周知と啓発、制度利用の相談および申立て支援、地域連携ネットワークへの参加促進を諮った。また、新たな担い手の育成として第2回目「市民後見人養成講座」の後期（実践編）を開講し25名が修了。佐倉市の市民後見人名簿に全員が登録した。

(ア) 成年後見制度の周知及び啓発

①正しい成年後見制度等の情報（広報紙、パンフレット等）をセンターに常備し、市民等へ配布 ②講演会の実施 ③ホームページの管理運営 ④関係機関への地域連携ネットワークへの参加促進、広報啓発 ⑤地域連携ネットワークへの新規参加者の発掘 ⑥地域連携ネットワーク構成員への研修等開催 ⑦成年後見制度利用促進基本計画に係る佐倉市の取り組みへの協力 ⑧佐倉市基本計画に沿った協議・立案会議の開催

成年後見制度講演会

開催日	令和5年11月25日（土）	参加者	49名
場 所	佐倉市西部地域福祉センター会議室1・2・3		
内 容	【講演】「任意後見制度」「公正証書遺言」について 講師：小宮山 茂樹 氏（公証人）		

地域連携ネットワークづくり研修会

開催日	令和5年 5月11日（木） 和田地区、弥富地区 5月12日（金）臼井地区 6月10日（土）千代田地区 7月11日（火）佐倉地区 9月9日（土）志津北部地区 9月14日（木）根郷地区 10月14日（木）志津南部地区	対象者	地区民生児童委員
内 容	1. 研修「成年後見制度と地域連携ネットワークについて」 2. 佐倉市成年後見支援センターの業務紹介		

佐倉市と基本計画に沿った協議・企画立案会議（年12回定期開催）

(イ) 相談業務

①成年後見制度に関する情報提供（来所および電話、出張相談、専門相談） ②成年後見人の業務、活動の概要説明 ③専門機関等の紹介 ④申立て支援⑤権利擁護支援の必要性、成年後見制度・サービス等利用の検討（アセスメント・スクリーニングの実施） ⑥成年後見制度以外のサービス等への連携及び繋ぎ ⑦権利擁護支援が必要な方のケース会議等への参加 ⑧専門職等を交えた支援方針等についての事例検討 ⑨相談の記録と保管の開催

相談件数(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
専門相談		6	4	3	4	6	5	4	2	5	4	5	48
一般相談	43	34	47	34	35	28	36	23	42	44	36	29	431
月別集計	43	40	51	37	39	34	41	27	44	49	40	34	479

出張説明会

開催日	令和5年12月10日（日）	参加者	19名
場 所	西部地域福祉センター		
内 容	志津地区社会福祉協議会福祉委員研修		
開催日	令和5年12月19日（火）	参加者	10名
場 所	志津コミュニティセンター		
内 容	志津北部地域包括支援センター「ケアマネおしゃべりカフェ」		
開催日	令和6年1月28日（日）	参加者	50名
場 所	西志津ふれあいセンター		
内 容	西志津地区社協研修会「成年後見人制度について」		
開催日	令和6年2月16日（土）	参加者	63名
場 所	Zoom開催（志津ユーカリ苑より配信）		
内 容	さくらケアマネ協議会研修会「高齢者の権利擁護と成年後見制度等について」		

受任調整会議及び運営会議の開催

第1回	受任調整会議及び第1回運営会議	7月21日（金）
第2回	受任調整会議及び事例検討、相談対応スクリーニング	10月20日（金）
第3回	受任調整会議及び事例検討、相談対応スクリーニング	12月15日（金）
第4回	受任調整会議及び第2回運営会議	2月9日（金）

(ウ) 成年後見人等の支援

①相談対応 ②支援チーム編成支援 ③専門職等からの協力を受けられる支援 ④成年後見事務の支援や助言 ⑤支援体制の変更が望ましいと考えられる際の関係者等との相談対応及び連携 ⑥新たな成年後見人等候補者の推薦を含めた家庭裁判所との相談・連携

(エ) 市民後見人の支援及び活用業務

①佐倉市市民後見人名簿の登録及び管理、佐倉市への書類提出 ②スキルアップ研修、③佐倉市市民後見人名簿登録者の成年後見に関する活動状況調査と継続掲載の意向確認 ④名簿登録者への情報提供 ⑤佐倉市市民後見人名簿登録者へ随時の成年後見制度に関する情報提供 ⑥市民後見人選任に関し佐倉市への市民後見人養成講座修了生の情報提供や受任調整会議への出席等についての協力、佐倉市や家裁から推薦依頼があった場合の面接選考等の実施と推薦者の選定 ⑦市民後見人の選任や効果的な活用について家裁と調整、協議を行う ⑧実務相談等の市民後見人の後見活動支援 ⑨市民後見人養成講座の開催

a 佐倉市市民後見人名簿登録者：8名

市民後見人選任：1件、NP0法人市民後見人協会への後見人交代：2件（社協が監督人に選任）

b 名簿登録者スキルアップ

開催日	研修内容	参加数
6月26日(月)	意思決定支援について ※日常生活自立支援事業生活支援員との合同開催	11名 (計24名)
11月25日(土)	成年後見支援センター講演会を兼ねる	17名
3月25日(月)	法人後見支援員活動の実践報告、グループワーク	23名

市民後見人養成講座の開催（後期カリキュラム全5日間 受講決定者25名）

6日目	4月22日(土)	9日目	6月10日(土)
7日目	5月20日(土)	10日目	6月24日(土)
8日目	5月30日(火)		

(オ) その他

①佐倉市障害者総合支援協議会啓発権利擁護部会	5回
②認知症対策検討会	2回
③相談支援事業所との事例検討会	5回
④令和5年度成年後見制度利用促進地区別意見交換会（印旛地区）	1回
⑤令和5年度家事関係機関との連絡協議会	1回
⑥成年後見制度利用促進のための千葉県域会議	1回

(6) 生活困窮者自立支援事業

実施内容

今年度は生活困窮者支援に対する支援の理解を地域へ広めていくため、地区社協会長会議、福祉委員研修、住民福祉懇談会、さくらケアマネ協議会研修などを通して制度の周知を行いました。これまで行ってきたひきこもり支援と就労準備支援を活かしながら、生活困窮者支援を通じた地域づくりを行い、就労準備作業や就労体験先への協力と、就労支援に関わる社会貢献活動などを行っている企業の情報提供などを呼びかけました。

(ア) 相談ならびに支援状況

内 容		件 数	備 考
相談支援対応件数（延べ）		4,479	
		935	
		62	新規申請者2名 新規2件、延長1件
新規相談受付件数		401	
うちひきこもり相談支援新規受付		27	
うち住居確保給付金新規受付		27	
支援決定（確認）件数（新規）		103	新規（うち緊急支援52件）
支援決定（確認）件数（再プラン）		60	
支援終了件数		86	
支援継続件数		44	
自立相談支援（新規＋再プラン）		163	重複あり （新規＋再プランケース）
(内訳)	住居確保給付金	3	
	家計改善支援	86	
	就労準備支援	33	
	認定就労訓練事業	6	
	自立相談支援事業による就労支援	92	

(イ) 自立支援計画支援調整会議の開催

回	日 時	場 所	出席者数	内 容
1	4月20日(木)	社会福祉センター 地下研修室	18名	新規ケース 9件(うち緊急支援7件) 評価ケース 13件(うち再プランケース4件)
2	5月18日(木)	社会福祉センター 地下研修室	15名	新規ケース6件(うち緊急支援4件) 評価ケース11件(うち再プランケース2件)
3	6月15日(木)	社会福祉センター 地下研修室	18名	新規ケース7件(うち緊急支援1件) 評価ケース12件(うち再プランケース3件)
4	7月20日(木)	社会福祉センター 地下研修室	15名	新規ケース11件(うち緊急支援2件) 評価ケース3件(うち再プランケース1件)
5	8月17日(木)	社会福祉センター 地下研修室	9名	新規ケース10件(うち緊急支援8件) 評価ケース13件(うち再プランケース7件)
6	9月21日(木)	社会福祉センター 地下研修室	14名	新規ケース8件(うち緊急支援3件) 評価ケース17件(うち再プランケース5件)
7	10月19日(木)	社会福祉センター 地下研修室	14名	新規ケース4件(うち緊急支援3件) 評価ケース11件(うち再プランケース6件)

8	11月16日(木)	社会福祉センター 2階 会議室	18名	新規ケース9件(うち緊急支援3件) 評価ケース9件(うち再プランケース3件)
9	12月21日(木)	社会福祉センター 2階 会議室	18名	新規ケース14件(うち緊急支援8件) 評価ケース9件(うち再プランケース5件)
10	1月18日(木)	社会福祉センター 2階 会議室	16名	新規ケース6件(うち緊急支援5件) 評価ケース18件(うち再プランケース10件)
11	2月15日(木)	社会福祉センター 地下研修室	16名	新規ケース13件(うち緊急支援6件) 評価ケース17件(うち再プランケース9件)
12	3月21日(木)	社会福祉センター 地下研修室	13名	新規ケース6件(うち緊急支援2件) 評価ケース13件(うち再プランケース5件)

※「評価ケース」とは、定期的な支援内容の確認や支援の継続等を検討するケース

(ウ) 視察、派遣、取材対応

対応 種別	日 時	場 所	対 応 内 容
派遣	4月25日(火)	佐倉市役所4号館 地下研修室	地区社会福祉協議会会長会議 地区社協とくらしサポートセンター佐倉の連携 について (就労準備支援とひきこもり支援)
派遣	8月27日(日)	南部地域福祉センター B棟1階 研修室	根郷地区福祉委員研修 ひきこもりの方への対応について
派遣	9月3日(日)	志津コミュニティセンター 大ホール	ユーカリが丘地区福祉委員研修 地区社協とくらしサポートセンター佐倉の連携 について (就労準備支援とひきこもり支援)
派遣	9月19日(火)	佐倉市役所4号館 地下研修室	地区社会福祉協議会会長会議 地区社協とくらしサポートセンター佐倉の連携 について (就労準備支援とひきこもり支援) 現 状報告
派遣	12月16日(土)	富里中央公民館講堂 2階研修室	第19回房総(印旛地区) 地域福祉実践研究セミナー 分科会②生活困窮分野 地区社協とくらしサ ポートセンター佐倉の連携について (就労準備 支援とひきこもり支援) 実践報告

(エ) 児童虐待防止ネットワーク会議

回	日 時	場 所	会議名(主催)
1	5月11日(木)	2号館 会議室	児童虐待防止ネットワーク実務者会議 進行管理会議(こども家庭課)
2	8月8日(火)		
3	11月6日(月)		
4	2月8日(金)		

(オ) 印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会会議関係

<総会>

回	日 時	場 所	内 容
1	7月18日(火)	市役所4号館 地下研修室	議案第1号 令和4年度事業報告 (案)及び決算報告(案)について 議案第2号 会則の変更について 議案第3号 令和5年度事業計画及び 収支予算(案)について

<研修会>

回	日 時	場 所	内 容
1	9月30日(土)	市役所4号館3階中会議室	印旛地域生活困窮者自立支援事業ネッ トワーク協議会 情報共有会
2	1月13日(土)	八街市総合保健福祉センター 3階 大会議室	印旛地域生活困窮者自立支援事業ネッ トワーク協議会 自立支援セミナー 「骨太なメンタルの作り方」 講師 ビジネス心理コンサルタント 大久保 雅士 氏

各種研修

回	日 時	場 所	内 容
1	7月1日(土)	千葉県弁護士会館	第12回 千葉県生活困窮者自立支援 実務者ミーティング 【女性支援を学ぶ、考える。】
2	7月11日(火)	印旛合同庁舎	グループホームの開設とピアスタッフ との協働 株式会社コタン 安藤 知行 氏
3	8月21日(月)	オンライン(ライブ)	中核地域生活支援センター大会 in2023 『総合相談って何?～相談支援の根っ こを考える～』
4	【前期カリキュラム】 共通 【7月3日(月)～8月4日 (金)】 【後期カリキュラム】 初任者 【9月26日(火)】 【9月27日(水)】 現任者 【9月25日(月)】	前期(現任者・初任者) 動画配信 7月3日(月)～8月4日 (金) 後期 会場参加 現任者 JA共済ビル 1F カンファレン スホール ①9月25日(月)	ひきこもり地域支援センター職員等へ の人材養成研修(初任者・現任者)

5	11月30日(木) 12月1日(金)	オンライン (ライブ)	生活困窮者自立支援制度におけるブ ロック別研修
6	11月30日(木) 12月2日(金)	オンデマンド配信 9月中旬 オンライン (ライブ) 10月27日(金)	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 就労支援員・就労準備支援事業従事者 養成研修
7	11月27日(月) 11月28日(火)	オンデマンド配信9月下旬 オンライン (ライブ) 11月27日(月) 11月28日(火)	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 自立相談支援事業従事者養成研修
8	12月4日(月)	香取合同庁舎 4階大会議室	北総圏域[印旛・香取・海匝・山武]合 同 地域共生社会推進にかかる勉強会
9	12月7日(木) 12月11日(月)	【12月7日】千葉県社会福祉 センター2階 研修室C 【12月11日】千葉県社会福祉 センター3階 大会議室	千葉県生活困窮者自立支援制度従事者 研修

(カ) 会議等参加

回	開催日	場 所	内 容
1	4月25日(火)	社会福祉センター地下研修室	第1回地区社協会長会議 地区社協とくらしサポートセンター佐 倉の連携について(就労準備支援とひ きこもり支援)
2	8月27日(日)	南部地域福祉センター	根郷地区福祉委員研修 ひきこもりの方への接し方
3	9月3日(日)	志津コミュニティセンター	ユーカリが丘地区福祉委員研修 地区社協とくらしサポートセンター佐 倉の連携について(就労準備支援とひ きこもり支援)
4	9月19日(火)	社会福祉センター地下研修室	第2回地区社協会長会議
5	11月30日(木)	県立佐倉西佐倉高等学校	千葉県高等学校教育研究会教育相談部 会 印旛地区研修会 ・情報交換

(キ) 広報

本事業を幅広く周知すること並びに活用促進を目的として、民生委員児童委員協議会、行政関係部署等にチラシの周知依頼を行った。

(ク) 民生委員児童委員協議会への制度周知

開催日	地区民児協	会 場	内 容
4 月	理事会	社会福祉センター	チラシによる周知

(ケ) 調査

回	調査名	調査依頼元
1	自殺対策支援情報等データ登録	健康推進課・母子保健課
2	令和5年度厚生労働科学研究（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業） 社会経済要因による栄養課題の解決に向けた食環境整備のためのツール開発研究調査	研究代表 新潟県立大学教授 村山 伸子 氏 調査実施責任者 新潟県立大学教授 太田亜里美 氏
3	就労支援機関及び自立相談支援機関における中高年等の孤独・孤立予防に係る調査	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム 大都市社会関係基盤研究テーマ

(コ) 仕事と暮らしの出張相談会

回	日 時	場 所	相談件数
1	7月19日(水)	西部地域福祉センター相談室	相談者1名（新規0名、継続相談者1名）
2	11月16日(水)	西部地域福祉センター相談室	相談者1名（新規0名、継続相談者1名）
3	2月21日(水)	西部地域福祉センター相談室	相談者1名（新規0名、継続相談者1名）

(サ) 家計セミナー

回	日 時	場 所	内容
1	9月23日(土)	市役所4号館 地下研修室	進学にかかる費用の準備と卒業後の人生設計について・～奨学金等進学資金ガイダンス～ 講師 松本 利浩ファイナンシャルプランナー

(シ) 学習・生活支援事業

くらしサポートセンター佐倉では、学習支援活動を行う会場の施設予約、教科書やワーク等学習支援に必要な教材の購入や貸出、保険等の事務作業や、学習支援活動団体懇談会等、各ボランティア団体が活動しやすいよう側面的な支援を行った。 学習支援活動団体懇談会は3回実施した。令和5年度第1回の懇談会は講師を迎え、発達障害についての研修を学習支援活動団体と子ども食堂団体とで共同開催をした。 令和5年度の学習支援活動回数は472回、児童生徒の参加者は延べ4,590名、ボランティアは延べ2,864名（うち学生ボランティア170名）が活動を行った。
--

a. 佐倉市内学習支援活動団体懇談会

回	日 時	場 所	内 容
1	8月30日(水)	佐倉中央公民館ホール	(1)学習支援団体等研修会について ゲストスピーカー NPO法人モチモチの森 理事長 青山春美様
2	12月11日(月)	社会福祉センター 2階会議室	子どもの居場所づくりについて
3	3月29日(金)	社会福祉センター地下研修室	子どもの居場所づくりについて

(ス) 自立相談支援 (ひきこもり)

a. 社会参加支援 (社会参加支援活動の実践状況)

No.	内 容
1	野菜バッグ作り、ボードゲームなどの作業に参加継続されている。昨年11月より市役所の清掃の仕事に就き、週2日、1日4時間の仕事を継続できている。
2	昨年4月に一度就労されたが会社からクレームあり退職。野菜バッグ作り、ボードゲームなどの作業に参加されている。地区社協のお祭りにボランティア参加し、福祉委員さんのご主人の会社で働いてみないかとお誘いを受けた。現在就労に向けて活動中。
3	畑作業、ハンドベルなどプログラム参加を継続できている。地区社協のお祭りにボランティア参加し、バザーの係を務めた。
4	街頭募金活動や地区社協のお祭りにボランティア参加継続されている。
5	地区社協のお祭り準備作業に参加。就労継続支援B型に通所開始。
6	自宅にて野菜バッグづくりを行えるようになった。実際の販売も見に行ったとのこと。
7	就労継続支援A型に就労が決まり、初めて継続して就労できている。
8	ご家族関係に悩んでいたが訪問を重ね関係改善し、A型に就労が決まった。
9	集団でのプログラム参加はずっと拒否であったが、スタッフ2名との野菜バッグ作り、ボードゲーム、外出を行えるようになり、一般企業への就労がきまり継続勤務できている。
10	集団でのボードゲーム、野菜バッグ作り、外出ができるようになった。
11	畑作業、ハンドベル、野菜バッグづくりなど積極的に交流されている。
12	就労継続支援A型で就労された後に、一般企業へ就労された。
13	こちらの支援で家賃の低いアパートに転居できた。就労継続支援A型に体験予定。
14	地区社協の支えあいサービスにてごみ捨ての仕事をを行っている。
15	野菜バッグ作り、絵画などを行い、外出支援も行けるようになった。会話も少しずつできるようになった。
16	就労継続支援A型の見学に行けた。
17	就労継続支援A型に就労決定。順調に継続できている。
18	ユニバーサル就労体験中。
19	市内の物流倉庫にて就労継続中。

20	ユニバーサル就労をへて正式に職員となった。
----	-----------------------

b. ひきこもり家族の会

回	日 時	場 所	内 容
1	6月30日(金)	佐倉コミュニティセンター 第1会議室、第2会議室	講師:奥田 朋子心理士 「ひきこもりについて考える」 当事者 A氏 グループワーク
2	12月1日(金)	佐倉コミュニティセンター 第1会議室、第2会議室	講師:奥田 朋子心理士 「家族のメンタルヘルスについて」 グループワーク

(セ)就労準備プログラム

実施状況

実施月	内 容	利用者数
R. 5. 4	今年度のプログラムを考えよう！	5名
R5. 5	枝豆とカブ植え体験	4名
R5. 5	社会生活機能訓練SST	4名
R5. 5	さつま芋とかぼちゃ植え体験	5名
R5. 6	じゃが芋の収穫祭	5名
R5. 7	枝豆の収穫祭	4名
R5. 8	社会生活機能訓練SST	4名
R5. 8	五感を使って楽しもう！ ピンポン&おすすめラーメン	5名
R5. 10	落花生の収穫祭 里芋とさつま芋の収穫に備えた雑草抜き	4名
R5. 10	今年最後の畑作業 里芋・さつま芋の収穫	6名
R5. 11	お金と福祉の制度について&簡単クッキング	5名
R5. 11	音楽を楽しもう！ハンドベル	4名
R5. 12	音楽を楽しもう！ハンドベル発表会&お楽しみ会	5名
R6. 1	3月の作物作りに備えよう	5名
R6. 2	来年度のプログラムを考えよう！	5名
R6. 3	じゃが芋、里芋植え体験&お花見を楽しもう！	6名

※その他、ご相談者の状態に合わせた少人数でのプログラムを不定期に実施している。

(ソ) ハローワークの巡回相談

1. 実施期間：R5. 4～R6. 3

2. 実施方法：成田公共職業安定所の就職支援ナビゲーターが当窓口まで出向き、月に1回2時間を持って当窓口の利用者の相談に応じた。

(7) 介護人材確保対策事業

実施内容

高齢者が住み慣れた地域で必要とする福祉サービスを利用できる地域社会を目指し、福祉を担う人材育成を目的に介護職員初任者研修を実施した。受講者10名中10名が修了し、介護知識・技術の向上並びに新たな福祉人材の市内福祉施設への就職に繋がった。

講座名		時間数	開講日	時間	講師所属等	講師
開講式・オリエンテーション		—	令和5年	9:00～9:30		
1-1	多様なサービスの理解	3	11月7日(火)	9:30～11:00	社会福祉法人誠友会 特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	竹内 淳
				11:10～12:40		
1-2	介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	11月7日(火)	13:40～15:10		
				15:20～16:50		
2-1	人権と尊厳を支える介護(1)	3	11月9日(木)	9:00～10:30	佐倉市社会福祉協議会	杉山 美枝子
				10:40～12:10		
2-1	人権と尊厳を支える介護(2)	3	11月9日(木)	13:10～14:40		
				14:50～16:20		
2-2	自立に向けた介護	3	11月14日(火)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	小笠原 健
				10:40～12:10		
3-1	介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	11月14日(火)	13:10～14:40	特別養護老人ホーム ゆたか苑	内川 浩明
3-2	介護職の職業倫理	1.5		14:50～16:10		
3-3	介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	11月16日(木)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム ユーカリゆうとの杜	伊東 洋詩
3-4	介護職の安全	1.5		10:40～12:10		
4-1	介護保険制度	3	11月16日(木)	13:10～14:40	千葉県社会福祉士会	岡本 崇広
				14:50～16:20		
4-2	医療との連携とリハビリテーション	3	11月21日(火)	9:00～10:30	千葉県リハビリテーションセンター	田中 康之
				10:40～12:10		
4-3	障害者福祉制度及びその他制度	3	11月21日(火)	13:10～14:40	千葉県社会福祉士会	岡本 崇広
				14:50～16:20		
5-1	介護におけるコミュニケーション	3	11月28日(火)	9:00～10:30	社会福祉法人愛光	近藤 美貴
				10:40～12:10		
5-2	介護におけるチームコミュニケーション	3	11月28日(火)	13:10～14:40	社会福祉法人愛光	近藤 美貴
				14:50～16:20		
6-1	老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	11月30日(木)	9:00～10:30	佐倉市志津北部地域包括支援センター	梅崎 由貴
				10:40～12:10		
6-2	高齢者と健康	3	11月30日(木)	13:10～14:40	宍戸内科医院	宍戸 智子
				14:50～16:20		
7-1	認知症を取り巻く状況	1.5	12月5日(火)	9:00～10:30	佐倉市志津南部地域包括支援センター	高橋 一江
7-2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	12月5日(火)	10:40～12:10		

7-3	認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	1.5	12月5日(火)	13:10～14:40	佐倉市佐倉地域包括支援センター	松尾 徳子
7-4	家族への支援	1.5	12月5日(火)	14:50～16:20		
8-1	障害の基礎的理解	1	12月7日(木)	9:00～10:00	さくら総合発達支援センター ホープ	塚本 淳智
8-2	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	1	12月7日(木)	10:10～11:10		
8-3	家族の心理、かかり支援	1	12月7日(木)	11:20～12:20	障害者相談支援事業所 レインボー	新井 真由美
9-1	介護の基本的な考え方	2	12月12日(火)	9:00～10:00	成田国際専門学校講師	釧地 平子
				10:10～11:10		
9-2	介護に関するところのしくみの基礎的理解	5	12月14日(木)	9:00～10:30	地域生活支援センター レインボー	鎌田 大輔
				10:40～12:10		
				13:10～14:10		
				14:20～15:20		
9-3	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	12月19日(火)	9:00～10:30	宍戸内科医院	宍戸 智子
				10:40～12:10		
				13:10～14:10		
				14:20～15:20		
9-4	生活と家事	6	12月21日(木)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	安宅 香織
				10:40～12:10		
				13:10～14:40		
				14:50～16:20		
9-5	快適な居住環境整備と介護	3	1月11日(木)	9:00～10:30	千葉県リハビリテーションセンター	田中 康之
				10:40～12:10		
9-6	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	1月16日(火)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	後田 恵子
				10:40～12:10		
				13:10～14:40		
				14:50～16:20		
9-7	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(1)	6	1月18日(木)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム さくらの丘	村本 二郎
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	特別養護老人ホーム 志津ユウカリ苑	大塚 和紀
				14:50～16:20		
	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(2)	6	1月23日(火)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム さくらの丘	村本 二郎
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	特別養護老人ホーム 志津ユウカリ苑	大塚 和紀
				14:50～16:20		
9-8	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	1月25日(木)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	安宅 香織
				10:40～12:10		
				13:10～14:40		
				14:50～16:20		

9-9	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	1月30日(火)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム さくら苑	飯塚 純子
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	特別養護老人ホーム ユーカリゆうとの杜	伊東 洋詩
				14:50～16:20		
9-10	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	2月1日(木)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム はちす苑	山口 桃香
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	特別養護老人ホーム ユーカリゆうとの杜	伊東 洋詩
				14:50～16:20		
9-11	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護について	4.5	2024/2/6 ⇒ 2024/2/27	9:00～10:30	成田国際専門学校講師	釧地 平子
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	ひまわりの里	佐藤 園子
9-12	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	1.5	2024/2/6 ⇒ 2024/2/27	14:50～16:20	宍戸内科医院	宍戸 智子
9-13	介護課程の基礎的理解	2	2月8日(木)	9:00～10:00	ケアプラン・ボンド	高梨子 淳一
				10:10～11:10		
9-14	総合生活支援技術演習	4	2月8日(木)	11:20～12:20	ケアプラン・ボンド	高梨子 淳一
				13:20～14:50	成田国際専門学校講師	釧地 平子
				15:00～16:30		
	総合生活支援技術演習	6	2月13日(火)	9:00～10:30	ケアプラン・ボンド	高梨子 淳一
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	成田国際専門学校講師	釧地 平子
				14:50～16:20		
10-1	振り返り	2	2024/2/27 ⇒ 2024/2/29	9:00～10:00	成田国際専門学校講師	釧地 平子
				10:10～11:10		
10-2	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	2024/2/27 ⇒ 2024/2/29	11:20～12:20		
				13:20～14:20		
	効果測定		2月29日(木)	14:30～15:30 9:00～12:10	成田国際専門学校講師	釧地 平子
	閉講式(修了証書授与等) 市内社会福祉施設就職説明会		3月5日(火)	10:00～12:00		

授業時間数 130

(会場:佐倉市社会福祉センター地下研修室)

9 基金

実施内容

自主財源の確保を目的として福祉基金を設置し、趣旨に賛同して寄せられた寄附金により資金造成を行っている。運用に関しては、定期預金は、期間を1年、2年に分散しての預入れ、債券は30年の公債を保有し、各事業実施のため福祉基金の取り崩し及び基金から生ずる利息の確保に努めた。菊地久治勉学奨励基金、元気に育て子ども基金、稲垣成こ勉学奨励基金、福得孝養基金は、取り崩して奨学福祉事業、生活困窮世帯子ども支援事業、終末ケア・終活支援事業、食を軸とする場づくり事業の各事業費に充当させている。

(1) 福祉基金

基金総積立額	145,569,467円
令和5年度寄附金額	1,268,000円
配 分 額	2,293,743円
内 訳	法人運営 718,743円
	地域福祉ネットワーク 1,575,000円

(2) 菊地久治勉学奨励基金

基金総積立額	91,394,557円
勉学奨励金配分額	3,702,110円
内 訳	勉学奨励奨学金として 3,392,110円
	勉学奨励一時金として 310,000円

(3) 元気に育て子ども基金

基金総積立額	42,913,647円
令和5年度寄附金額	534,781円
子ども支援金配分額	433,230円

(4) 稲垣成こ勉学奨励基金

基金総積立額	14,364,105円
令和5年度積立金額	16,500円

(5) 福得孝養基金

基金総積立額	31,574,684円
令和5年度寄附金額	10,045,000円
令和5年度積立金額	10,045,000円

10 共同募金配分事業

(1) 歳末たすけあい運動

実施内容

経済的に支援が必要な在宅生活者が明るい正月を迎えられよう、支援金を贈るとともに、佐倉市内で生活に困窮する方を年間を通じて支援する活動団体への助成金による支援のため、「歳末たすけあい募金配分内容検討委員会」において、コロナ禍のため書面会議により検討・協議を経て、配分額等を決定した。対象者の確認、支援金の配分は、民生委員・児童委員協議会の協力で実施し、歳末たすけあい助成金を募集し地域配分を行った。

(ア) 歳末たすけあい募金配分内容検討委員会

回数	開催日	会場	内 容
第1回	5月25日 (木)	佐倉市社会福祉センター 2階会議室	<報告事項> ・令和4年度 歳末たすけあい募金・配分実績について <協議事項> ・歳末たすけあい運動配分内容の検討について
第2回	7月10日 (月)	佐倉市社会福祉センター地下研修室	<報告事項> ・前回会議の振り返りについて <協議事項> ・歳末たすけあい募金助成金の申請団体の選考について

(イ) 民生委員・児童委員協議会での歳末たすけあい運動の協力依頼

	理 事 会	単位地区定例会
9月	配分対象者の確認（調査）依頼	同左
10月	配分対象者の確認（調査）台帳回収	同左
11月	配分対象者「確認票」の配布	同左
12月	配分対象者への「在宅支援金」交付・「受領簿」の配布	同左
1月	在宅支援金「受領簿」回収と戻入金受付・不在者引継ぎ対応	同左
3月	歳末たすけあい運動事業報告（書面）	同左

(ウ) 在宅支援金の配分実績

(単位：円)

区分	種 別	対象世帯数	金額	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
				対象世帯数	金額	対象世帯数	金額	対象世帯数	金額
要保護世帯	一般低所得世帯	単身	8,000	14	112,000	10	80,000	14	112,000
		家族あり	11,000	23	253,000	26	286,000	25	275,000
		家族(子あり)	13,000	126	1,638,000	125	1,625,000	116	1,508,000
	母子・父子世帯	子1人	11,000	115	1,265,000	120	1,320,000	131	1,441,000
		子2人以上	14,000	197	2,758,000	216	3,024,000	206	2,884,000
	ひとり暮らし高齢者世帯		8,000	130	1,040,000	141	1,128,000	146	1,168,000
	ねたきり高齢者世帯	単身	8,000			0	0	0	0
		家族あり	11,000			2	22,000	2	22,000
	心身障がい児・者世帯	単身	8,000	2	16,000	4	32,000	5	40,000
		家族あり	11,000	12	132,000	9	99,000	10	110,000
	罹災世帯	単身	8,000	0	0	0	0	0	0
		家族あり	11,000	0	0	1	11,000	0	0
合 計				619	7,214,000	654	7,627,000	655	7,560,000

(エ) 歳末たすけあい募金助成金

通年事業	内 訳	金 額
年間を通しての生活困窮者等への活動助成金	50,000円×22団体	1,100,000
	合計	22団体 1,100,000

(オ) 配分合計

在 宅 支 援 金	619世帯	7,214,000
年間を通しての生活困窮者等への活動助成金	22団体	1,100,000
事 務 費		362,117
配 分 合 計	641世帯・団体	8,676,117

(カ) 募金実績

歳末たすけあい募金目標額	9,700,000円
歳末たすけあい募金実績額	8,203,802円

(キ) 次年度への繰越金

令和4年度末繰越金	8,328,086円
令和5年度募金実績	8,203,802円
令和5年度配分実績	8,676,117円
次年度への繰越金（令和5年度末）	7,855,771円

(2) 児童福祉事業

(ア) 交通遺児見舞金・勉学奨励金・激励金・受験費用助成金の交付

実施内容

陸上交通事故により父親または母親を失った18歳未満の交通遺児（世帯）を対象世帯とし、調査を行い該当する世帯に対し担当地区民生委員の協力を得て見舞金、勉学奨励金・激励金、受験費用助成金の交付を行い交通遺児世帯の激励を行った。	
交通遺児該当世帯	なし
見舞金 交付金額	なし
勉学奨励金 交付金額	30,000円
激励金 交付金額	120,000円
受験費用助成金額	48,000円

1 1 共同募金事業への協力

実施内容

共同募金事業について、市民の理解を求めるとともに、たすけあい精神を高め、市民の善意を結集した募金運動を千葉県共同募金会佐倉市支会と協力して行う。
募金活動は、10月1日から、各自治会・町会・区の協力による戸別募金、法人・学校・職域・イベント等で実施する。駅頭や大型店舗等において、ボランティアグループ及び個人・地区社協・学校等の協力による街頭募金はコロナ禍のため中止。

(ア) 赤い羽根募金

募金目標額 14,160,000円 募金実績額 11,650,825円

(イ) 歳末たすけあい募金

募金目標額 9,700,000円 募金実績額 8,203,802円

(ウ) 赤い羽根共同募金説明会

4月に地区代表者に対して共同募金運動についての説明、協力依頼を行った。また、自治会あてに送付した資料にて共同募金運動についての説明、協力依頼を行った。

開催日時	会 場	対象者
5月13日(土) 13:30～15:00	佐倉ハーモニーホール (佐倉市民音楽ホール)	地区代表者(希望者)

(エ) 資材発送

9月に地区代表者に対して協力依頼とともに赤い羽根募金資材を発送する作業に協力した。また、歳末たすけあい募金資材については、11月の資材発送作業に協力した。

(オ) 共同募金しおりづくり

共同募金をより理解していただくこと、街頭募金活動で啓発用に配布することを目的に実施とした。今年度はしおりづくりリーダー養成講座を行い、しおりづくりを担う人材の養成を初めて行った。

しおりづくりリーダー養成会

開催日時	会 場	人数
7月28日(金) 13:30～15:30	社会福祉センター2階会議室	5人

しおりづくり会

開催日時	会 場	人数
8月3日(木) 13:30～15:30	西部地域福祉センター会議室	17人
9月11日(月) 13:30～15:30	社会福祉センター2階会議室	11人

(カ) 佐倉市オリジナル回覧作成

共同募金運動をすすめる上で、佐倉市内で寄せられた募金がどのように活用されているのかを、その流れとともに昨年の実績を綴った佐倉市オリジナルの回覧物を6,000枚作成し、自治会・町内会等へ配布した。また、学校、法人・団体へも協力依頼とともに配布を行った。

1 2 居宅介護

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、身体障がい者（児）、知的障がい者（児）、精神障がい者にホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。

活動実績（地域生活支援事業、生活サポート事業、同行援護事業を含む）

月	利用者数（人）			活動回数（回）		
	5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度
4月	45	53	58	236	312	360
5月	44	54	57	235	325	333
6月	43	50	59	214	328	345
7月	44	53	53	217	322	326
8月	40	48	55	213	281	318
9月	44	49	54	203	266	332
10月	39	49	61	209	278	333
11月	45	51	61	215	290	333
12月	40	47	58	193	250	332
1月	38	46	58	200	261	289
2月	34	50	54	194	232	277
3月	40	49	56	212	276	325
合 計	496	599	684	2,541	3,421	3,903
月平均	41	50	57	212	285	325

(2) 訪問介護員派遣事業

公的制度に該当しない介護又は支援を必要とする高齢者、障がい者、児童等の家庭に訪問介護員を派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。

活動実績

月	利用者数（人）			活動回数（回）		
	5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度
4月	3	4	4	7	4	11
5月	3	4	1	8	4	2
6月	4	5	4	8	14	5
7月	4	5	7	10	6	9
8月	3	6	5	7	8	19
9月	2	4	4	5	7	19
10月	1	4	6	1	7	22
11月	1	3	5	2	7	20
12月	0	5	6	0	8	18

1 月	1	3	5	1	4	8
2 月	0	2	3	0	4	3
3 月	0	2	2	0	8	2
合 計	22	47	52	49	81	138
月平均	2	4	4	4	7	12

(3) 相談支援事業

	利用者数 (人)		
	指定計画相談支援		
月	5 年度	4 年度	3 年度
4 月	4	1	3
5 月	0	3	2
6 月	2	1	3
7 月	2	0	1
8 月	1	3	0
9 月	2	0	3
10 月	0	4	1
11 月	6	2	5
12 月	0	2	2
1 月	1	1	2
2 月	1	1	1
3 月	2	1	1
合計	21	19	24
月平均	1.8	1.6	2

1 3 介護保険

(1) 訪問介護事業

介護保険制度に基づく訪問介護事業を適正に実施するとともに、質の高い介護サービスを提供するための人材育成等を行った。尚、令和5年度から人員体制が2.5人から1.5人に減少したが、実績は高く維持できた。

(ア) 訪問介護活動実績

月	利用数（人）			活動回数（回）		
	5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度
4月	18	22	21	161	248	202
5月	19	20	21	183	228	200
6月	19	23	21	176	243	218
7月	17	23	21	151	245	205
8月	17	21	21	160	241	204
9月	15	19	21	119	217	209
10月	15	20	22	104	205	217
11月	14	20	22	93	190	208
12月	10	20	24	74	184	209
1月		19	22		159	182
2月		17	20		152	179
3月		18	20		180	213
合 計	144	242	256	1,221	2,492	2,446
月平均	16.0	20.2	21.3	135.7	207.7	203.8

(イ) 総合事業活動実績

月	利用者数（人）			活動回数（回）		
	5年度	4年度	3年度	5年度	4年度	3年度
4月	14	26	24	73	144	157
5月	13	25	24	79	148	130
6月	13	24	25	73	141	148
7月	13	25	25	70	143	152
8月	13	25	27	77	162	162
9月	11	23	29	66	148	166
10月	9	22	29	54	130	166
11月	5	17	29	29	105	173
12月	1	16	29	9	101	180
1月		16	28		91	155
2月		15	27		83	154
3月		15	26		92	170
合 計	92	249	322	530	1,488	1,913
月平均	10.2	20.8	26.8	58.9	124.0	159.4

(ウ) 介護度別利用者内訳

要介護状態区分	利 用 者 数 (人)		
	令和5年12月	令和4年3月	令和3年3月
事業対象者	0	0	0
要支援 1	0	2	11
要支援 2	1	13	15
要介護 1	4	8	7
要介護 2	2	4	6
要介護 3	3	4	5
要介護 4	1	2	1
要介護 5	0	0	1
合 計	11	33	46

(エ) 訪問介護員

a 訪問介護員登録人数 3月31日在籍者数

令和5年度	13名
令和4年度	19名
令和3年度	23名

b 訪問介護員会議・研修

会議・研修	開催日	内 容	参加者(人)
全 体 会	4月16日(日)	雇入通知書交付・令和4年度実績報告 令和5年度事業について	14
会議・研修会	4月16日(日)	個別研修計画立案 法令遵守・倫理について	14
会議・研修会	5月23日(火)～26(金)	健康診断のためワーク対応	16
会議・研修会	6月18日(日)	感染症・食中毒	15
会議・研修会	7月16日(日)	接遇	16
会議・研修会	8月20日(日)	認知症	16
会議・研修会	9月10日(日)	緊急時の対応 (職員の体調不良のためワーク)	16
会議・研修会	10月15日(日)	ADE	13
会議・研修会	11月19日(日)	情報共有	14
会議・研修会	12月17日(日)	虐待	13
会議・研修会	1月14日(日)	プライバシー保護	13
会議・研修会	2月18日(日)	技術指導(車イス)	12
会議・研修会	3月17日(日)	災害時に係る業務継続計画について	10
		合 計	182

*会議・研修の欠席者は、テーマに添ったレポートやワークの提出を必須として行なった

(2) 居宅介護支援事業

介護保険法に基づいて介護を必要とする高齢者やその家族と面接しその人に合わせたケアプランを作成、適切なサービスを提供するため調整や連携を実施、また要介護・要支援認定調査業務も依頼があり行った。事業終了にあたり、利用者・利用者家族・関係機関への周知並びに利用者の他事業所への移行を円滑に行った。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
4月	35人	55人	62人
5月	36人	52人	58人
6月	35人	53人	56人
7月	35人	51人	55人
8月	34人	48人	55人
9月	35人	54人	53人
10月	31人	52人	54人
11月	26人	51人	57人
12月	11人	47人	56人
1月		47人	51人
2月		40人	50人
3月		41人	51人
合計	278人	591人	658人
月平均	31人	49人	55人

介護予防支援業務活動実績

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
4月	13人	31人	27人
5月	13人	30人	26人
6月	12人	30人	27人
7月	11人	32人	27人
8月	11人	33人	27人
9月	11人	31人	29人
10月	11人	27人	30人
11月	10人	26人	30人
12月	7人	26人	31人
1月		26人	30人
2月		22人	29人
3月		18人	27人
合計	99人	332人	340人

月平均	11人	28人	28人
-----	-----	-----	-----

介護度別利用者内訳

状態区分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
事業対象者	1人	1人	2人
要支援 1	4人	11人	9人
要支援 2	6人	16人	20人
要介護 1	12人	19人	20人
要介護 2	8人	12人	16人
要介護 3	5人	10人	11人
要介護 4	3人	5人	3人
要介護 5	2人	2人	1人
合 計	41人	76人	82人

要介護・要支援認定調査業務活動実績

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
4 月	0件	1件	0件
5 月	0件	0件	0件
6 月	0件	1件	0件
7 月	0件	1件	0件
8 月	2件	0件	0件
9 月	2件	0件	0件
10 月	2件	0件	0件
11 月	2件	1件	0件
12 月	0件	1件	0件
1 月		0件	0件
2 月		1件	0件
3 月		0件	0件
合 計	8件	6件	0件
月平均	1件	1件	0件

Ⅱ 公益事業

1 指定管理事業

(1) 西部地域福祉センターの管理運営

実施内容

佐倉市との間で締結した佐倉市西部地域福祉センターの管理に関する協定書に基づき、（指定期間：平成31年度から令和5年度まで）適切な管理運営業務を実施した。地域住民が地域福祉活動を推進する施設として、その場と機会を提供するとともに福祉活動の拠点として、志津、志津南、ユーカーが丘及び西志津地区社協の事務局を設置している。また、ボランティアセンター、研修、相談等の施設を確保し、ボランティアセンター機能の充実を図ることにより地域福祉の増進に努めた。

(ア) 利用状況

人員配置：センター長 1 人、福祉活動専門員 1 人、管理員 7 人

室 名	5年度		4年度		3年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室	1,391	51,262	1,304	39,749	783	25,245
研修室	385	5,470	402	4,266	251	2,679
娯楽室	—	2,617	—	2,330	—	1,110
和 室	—	1,251	—	1,247	—	255
浴 室（男）	—	5,197	—	5,022	—	3,334
浴 室（女）	—	2,004	—	2,200	—	1,551
浴 室（計）		7,201		7,222		4,885

(イ) 相談事業

弁護士による無料法律相談

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	
内 容	

知的障がい児（者）支援相談

日 時	4/7, 5/12, 6/9, 7/14, 9/8, 10/13, 11/10, 12/8, 1/12, 2/9, 3/8 第2金曜日 10時～15時
会 場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	4月2件、5月1件、6月1件、7月1件、8月祝日のため休止、9月1件、10月2件、11月0件、12月1件、1月2件、2月1件、3月2件

相続・遺言・成年後見講演&相談会

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室 相談室
参加者数	
内 容	公益財団法人家庭問題情報センター千葉ファミリー相談室の協力を得て、相続・遺言・成年後見について学ぶ講演会・相談会を開催予定であったが、コロナ禍のため中止し、令和6年度開催に向けて調整を行った。

行政書士の悩みごと相談会

日 時	4/23、5/28、6/25、7/23、8/27、9/24、10/22、11/26、12/24、1/28、2/25、3/24 第4日曜日 13時～16時
会 場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	4月2件、5月2件、6月0件、7月1件、8月0件、9月0件、10月0件、11月0件、12月1件、1月3件、2月2件、3月0件

(ウ) 高齢者交流事業

アロハ・プア・ナニ

日 時	9/5、10/31 13時30分～14時30分 全2回開催
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	9/5 6名、10/31 16名
内 容	主に高齢者を対象として、心身の健康増進及び認知症予防を目的に開催した。当初予定していたボランティアグループが活動休止状態のため、ボランティアグループを変更した。ウクレレなどの生演奏によるハワイアンソングとフラダンスを見たり、月の砂漠やバラが咲いた、浜辺の歌などを参加者も一緒に歌ったりして楽しんだ。コロナ禍で地域交流が薄くなっている中、歌を通して交流を図った。

自力整体

日 時	10/8、10/15、11/5、11/26 日曜日 9時30分～正午 全4回開催
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	10月8日 27名、10月15日 28名、11月5日 30名、11月26日 29名
内 容	高齢者等が医療や介護を必要とせずに、できるだけ長く健康で生活していくために、自分のペースにより自分の体重を活かして、自分の体を整体することにより健康維持を図ることができた。参加希望者が多く、定期的な開催を求める声が多く上がった。

椅子ヨガ

日 時	1/28、2/11、2/25、3/10、3/31 日曜日 13時30分～14時30分 全5回開催
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	1月28日 29名、2月11日 30名、2月25日 32名、3月10日 20名、3月31日 13名
内 容	長期にわたるコロナ禍により、特に高齢者のフレイルが課題であるため、介護予防ならびに住民同士の交流を目的に高齢者でも簡単にできる椅子ヨガを企画した。膝が痛くても椅子に座って全身運動ができることから、非常に人気が高い。全5回であったが、1人3回までの予約として募集したが、2日で予約が埋まった。その後も予約の問い合わせが多く寄せられ、次の開催を待ち望む声が上がリ、また、参加者からも定期的な開催を望む声が多く寄せられた。 最終回は3/24（日）予定であったが、講師の体調不良で3/31（日）に急遽変更した。参加者には連絡を入れ、混乱はなかったが、人数は減少してしまった。

懐かしいあの歌、この歌、一緒に歌いませんか～やっかまし娘&おとなしボーイズ

日 時	11月5日（日）14時から15時30分
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	54名
内 容	当初予定していたボランティアグループが活動休止状態のため、ボランティアグループを変更して実施した。 長期にわたるコロナ禍により、高齢者の介護予防ならびに住民同士が楽しく交流できる機会が必要なため、ギター演奏に合わせて演歌、歌謡曲、童謡を参加者も一緒に歌った。次回を希望される方が多かった。

健康セミナー 地域でともに暮らすために～一緒に考えよう認知症

日 時	3月15日（金）13時30分～14時30分
会 場	西部地域福祉センター会議室
参加者数	19名
内 容	志津南部包括支援センター2名の協力を得て開催。認知症の新薬について、認知症基本法についてを初めに説明いただき、その後は講師の体験談を交えながら認知症について講義を受け、質疑応答を行った。当施設を地区社協活動、ボランティア活動やサークル活動などご利用される方の中で、物忘れの傾向が出ている方などの情報を耳にする機会があり、どのように一緒に活動をしていけるかを共有できる場を設けようと開催したが、時間が足りず、話し合いの時間が取れなかった。参加者からは、もっとじっくり話し合える時間を持ちたかったとご意見をいただいた。

生活安全セミナー～スマホの使い方講座

日 時	2/29、3/7（木）10時～正午
会 場	西部地域福祉センター 研修室
参加者数	2/9 6名、3/7 4名
内 容	高齢者に起こりうる消費生活などのトラブルを未然に防止するための講座として、シルバー人材センターパソコン班3名の協力を得て、開催した。定員6名で、2回コース、内容としては、初回は電源のオンオフ、電話のかけ方、取り方、電話帳の使い方、カメラの使い方と写真の保存。2回目はSNSの使い方、スマホを安全に使うためのポイントについて学んだ。参加者は、実際にスマホを触りながらの講習だったため、わかりやすかったと好評であった。

(エ) 子育て支援事業

UVレジンでアクセサリ作り教室

日 時	3月28日（木）10時～正午
会 場	西部地域福祉センター 研修室
参加者数	10名
内 容	当施設を定期利用しているクラフトルームの谷口千恵氏を講師に、児童も高齢者も一緒に、UVレジンを使い、講師が用意した飾りを載せて、パフェチャーム作りをおこなった。2回に分け、10時から6名、11時から4名参加し、児童と高齢者の交流を図ることができた。

(オ) ボランティアセンター運営事業

夏休み児童手話講座

日 時	9月17日(日) 10時～11時30分
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	45名
内 容	佐倉市ボランティアセンターとの連携により、ボランティア団体「手話サークル希望」及び「佐倉市ろう者協会」の協力を得て、聴覚障がい当事者から講話を聞き、実際に手話を体験することにより、聴こえないことへの理解・啓発を目的として子ども向け手話体験講座を開催した。当日は、小学生の親子連れの参加が多く、子どもたちが自発的に発言する等活発な様子が見られた。

ボランティア相談件数

内 容	件数
活動相談	52件
支援相談	2件
情報提供	14件

(カ) その他事業

定期利用団体との懇談会

日 時	3月13日(水)
会 場	西部地域福祉センター 研修室
参加者数	8団体9名
内 容	定期的に当施設を利用されている30団体に案内を出し、8団体が参加。施設利用に関する要望等を伺い、今後の施設運営に活かす目的と、団体同士の交流を兼ねて開催した。要望としては、サークル活動を行っているグループからロッカー利用をさせてもらえないかという意見があがった。現在ボランティアグループが利用しなくなったロッカーもあり、利用について検討していくこととした。他の団体は満足度が高いとの内容であった。

生活支援案内業務

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止→下期に検討し、再開しないこととなった
会 場	西部地域福祉センター 談話コーナー
支援者数	
内 容	行政機関や社会福祉協議会が実施している相談業務について、どの相談を利用すればよいのか判断できない方のために、佐倉市シルバー人材センターの協力を得て、各種の相談に向けた案内業務を実施するため、先方に再開を打診し、検討していただいた結果、利用が少なかった経緯があり、生活支援案内業務としては再開しないという結果となった。

Ⅲ 収益事業

1 手数料の収入

(ア) 自動販売機の設置

設置台数	11台
金 額	1,563,886円

設置場所	設置台数	設置場所	設置台数
西部保健福祉センター	1	佐倉市民体育館	2
レインボープラザ佐倉	1	根郷公民館	1
社会福祉センター	6		

過去3カ年の比較

年 度	設置台数	金 額
令和5年度	11台	1,563,886円
令和4年度	11台	1,725,304円
令和3年度	11台	1,341,256円

(イ) 広告掲載料

社協さくら広告掲載料により、社会福祉事業の資金造成を行った。
社協さくら・ホームページ広告掲載については、本会の法人会員へ勧誘を行った。

売上金等種類	社協さくらへの広告掲載料
金 額	390,000円

過去3カ年の比較

年 度	金 額
令和5年度	390,000円
令和4年度	330,000円
令和3年度	345,000円

社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会

【理 事】

会 長 大藏 文子

副会長 小林 眞智子 稲阪 稔

理 事 兼坂 誠 宇田川 光三 内田 節子 寺田 純子

業務執行理事 深沢 孝志

【監 事】

西原 弘明 守友 英徳

【顧 問】

山下 興一郎 長谷川 大美

【評 議 員】

池 克志 伊藤 澄子 稲村 多恵子

内川 浩明 上出 和子 小長井 博子

塚田 雅二 土屋 志郎 湯川 芳朗

令和6年3月31日現在

監 査 報 告 書

社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会
会 長 大 藏 文 子 様

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの、令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び職員等との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めるなど、重要な決裁書類を閲覧し業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法により当該会計年度に係る事業報告について検討いたしました。

また、会計帳簿に関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

(1) 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為、または法令、もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収入支出及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において、適正に処理しているものと認めます。

令和6年5月17日

監 事

西原 弘明



監 事

守友 英徳

